

2002年3月

飲酒とドメスティック・バイオレンス

委託調査報告書

アルコールとDV研究会

財団法人 女性のためのアジア平和国民基金

目次

はじめに	1
1. 飲酒とDVの関連性に関する先行研究の概観	3
1) ドメスティック・バイオレンスに対する飲酒の影響	3
2) 隠れ蓑、言い訳としての「飲酒の影響」：飲酒免責論	4
2. アルコール臨床調査	5
1) 調査の概要	5
2) 対象者の諸属性	5
3. 調査結果	8
1. 暴力の実態	8
(1) 被害状況(女性票)	8
(2) 加害状況(男性票)	12
(3) 過去の暴力体験	14
2. 社会関係	15
3. 夫婦げんかの状況	17
4. 結論とまとめ	21
1) 飲酒とドメスティック・バイオレンス	21
2) 本研究の限界と今後の課題	23
3) 今後の展望	23
参考文献	26
付録資料	27
1. インフォームド・コンセント関係書類(ご協力のお願ひ・アンケート調査参加同意書)	28
2. 調査票(女性版・男性版)	31
3. 単純集計結果表 一覧 (女性票回答集計・男性票回答集計)	52

はじめに

自分自身の残りの人生を病気や事故などによって障害を負った状態で暮らすことになる人の年月を示した調査によれば(Murray and Lopez, 1996)、女性が生涯にわたって障害を持つことになる主因は、脳梗塞などの病気ではなく、家庭内暴力や嗜癖によるところが大きいという。これはアメリカでの話であり、日本や、ましてや何年も内戦や食糧飢饉に苦しんでいる世界の女性の話ではない。しかし内戦や軍事的紛争があるわけでもなく、またかつてのように組織売春が横行しているのでもない現在のわが国で、女性に対する暴力を考えると、親密な関係にある男性から女性に加えられる暴力(以下、ドメスティック・バイオレンスあるいはDVという)は、幼児虐待とともに女性が一生に受ける暴力の最たるものかもしれない。

ドメスティック・バイオレンスは、主に家庭を中心に男性から女性に加えられる肉体的、精神的、性的な暴力を意味する専門用語であるが、2001年には「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(通称DV防止法)」が成立施行され、マスメディアでは通称DV防止法などと呼ばれるため、一般にも次第に浸透し始めた用語である。さらに最近では、専門家間で社会的、経済的な暴力をもDVに含めるべきだとの主張も出ている。

1990年代に入り、それまでは私的世界の痴話げんか程度にしか扱われてこなかった女性への暴力は、女性への人権侵害との新たな観点から国際的な関心事となってきた。1993年国連は「女性に対する暴力の撤廃に関する宣言」を採択し、この問題の重要性をアピールした。次いで1995年には北京での世界女性会議では女性への暴力が主要なテーマの一つとしてとりあげられた。この1995年会議の決議事項の進捗状況を評価するために、2000年6月にはニューヨークでの国連特別総会(女性2000年会議)では各国が採るべき行動目標を明示した最終文書を採択した。その中に女性への暴力の根絶が挙げられ、加盟各国は女性への暴力の廃絶に向けてのアクションプランの策定が急務とされたのである。こうした国際的潮流を反映して、日本でも近年DVは大きな社会問題となってきた。ドメスティック・バイオレンスの実態調査やこれに基づく被害者の支援、サポート対策が待たなしで迫られている状況と言える。

米国などではDV問題に関する研究が早くから着手されてきたが、上記のような流れに即して日本でもようやくここ数年の間に東京都(1998年)や総理府(2000年)のDV実態調査が行われた。さらに総理府あるいは内閣府の男女共同参画社会推進政策の後押しもあって、各自治体でもそれぞれに類似のDV関連実態調査が行われ始めてい

る。しかしそうした努力はまだ緒に着いたばかりである。今後とも地道に息長く継続される必要がある。同時に、実態の把握にとどまらず予防や対策を考えてゆく場合、どうしても特定条件下別に問題を検討する努力が目指されるべきである。従来よりDVにはしばしばアルコールが介在することが臨床経験的にも、また学術研究上も指摘されてきた。

そこで本研究では、アルコールの影響下という特定条件に着目して、暴力と飲酒との関連性に検討を加え、DVのより具体的な発生状況、DVに対する飲酒の役割や関連性、ならびにその予防的、介入的対策を臨床疫学的アプローチによって明らかにすることを目的とするものである。以下にアルコールとDVの関連性に関する欧米を中心としたこれまでの研究を概観し、その上で今回の臨床調査による研究結果を報告する。

1 . 飲酒とDVの関連性に関する先行研究の概観

1) ドメスティック・バイオレンスに対する飲酒の影響

これまでの研究では、直接的であれ間接的であれ飲酒の影響について多くの研究で触れられている。にもかかわらず、DVに対する飲酒の影響は決定的とは言えず、なお未確定な部分が多い。飲酒が暴力の”原因”であるといえる確たる調査結果は出ていないとして、飲酒はDVと深い関連性を有するものの、DVに対して「必要条件でも十分条件でもない」とさえ言い切る研究(Kantor and Straus, 1990)もある。例えば、飲む人も飲まない人も暴力を振るい、「酔いどれ(drunken bum)」もごく普通の酒飲みも暴力を振るうのである。

ただこれを裏返せば、飲む人も飲まない人も暴力を振るわず、「酔いどれ」もごく普通の酒飲みも暴力を振らないということにもなる。この点を見逃すと、短絡的な結論である「(DVにとって)飲む飲まないは関係ない」という、よく耳にする安直な断定に陥ることになる。関係がないのではなく、飲酒は明らかにDVと深い関連性を有するのである。ただ”原因”とは確定できないのである。

さらに一般的な暴力か、それとも「殴られた人にケガを与える可能性の高い行為」として定義される「虐待的暴力か」か(Straus, Gelles and Steinmetz, 1980=1981)あるいはまた「少なくとも2回以上の虐待のサイクルを経験」(Walker, 1979=1997)するとされるDVなのか、どれを議論の焦点としているかによっても、飲酒の暴力、DVに対する影響は微妙に異なってくる。ちなみに今回のわれわれの調査では、当初「口げんか」を夫婦間の相互暴力の一つと見なして調査票に取り込んでいたが、飲酒と夫婦間葛藤を検討するならばともかく、飲酒とDVの関連性を検討するには深刻度が違いすぎるとの理由でこれを外している。ただ、いきなりDVが始まるのではなく最初は口げんかなどから、そして次第にないしはある日突然に、ひどい「虐待的暴力」にエスカレートするDVプロセスを想定すれば、アルコールがDVのどの局面により深く関連しているのかを明らかにできたのかも知れない。

これとは別に、議論の際に考慮すべき点は、一口に”飲酒の影響”とは言ってもまさに飲酒したその時のアルコールの影響下でのことを問題にするのか、それとも長期間にわたる過飲の影響による暴力(酔っている時の暴力もあれば、素面の時の暴力もある)を問題とするのかによっても、議論が異なってくる。だからこそ錯綜していて、飲酒が暴力の”原因”であると断言し得ないのである。

飲む人も飲まない人も暴力を振るうということだけが「飲む飲まないは関係ない」との断定の根拠ならば、それは「男性も女性も暴力を振るう、だから性別は暴力やDVとは関係ない」というに等しいことになる。安直な断定と言ったのは、こうした意味である。

2) 隠れ蓑、言い訳としての「飲酒の影響」: 飲酒免責論

「酔った上での振る舞い(drunken comportment)」を検討の対象にした研究によれば、中枢神経系に対するエタノールによる抑制弛緩効果のため人びとは自己コントロールを喪失し、これが原因で平常ならばとうてい考えられないことまでしてかすのだ、という通俗的理解とは決別すべきだと主張している(MacAndrew and Edgerton, 1969)。マッカンドルーたちは、この酔った上での振る舞いをタイムアウト行動と呼び、どの社会にも見られる秩序の中に共存する混乱の一つのパターンとみなした。秩序の中の混乱を社会文化的に受け入れる二つの基本的パターンは、秩序遵守能力の恒常的な欠損視(精神病質)か、あるいは一時的、間歇的な能力欠損視(薬物などによる一時的な意識変容)や義務免除のいずれかであり、特に後者の一時的なものを<タイムアウト>行動として特徴づけている。しかし彼らの主張はこの酔った上での振る舞いを認めるにあらず、そうではなく酔った上での実際の振る舞いのひどさを考えると、あまりにもそれは度を越しておりとうてい受け入れられるものではないという。そうした振る舞いの多くが、中枢神経系に対するエタノールの直接的影響というよりも、混乱や逸脱の口実や言い訳として社会的に学習された行動であるとも指摘する。そしてわれわれは上述したような通俗的理解とは決別すべきだというのが、マッカンドルーたちの基本姿勢である。

DV問題の領域で、「女性への暴力問題を考える際に飲酒問題を持ち出すことは、控えるべきあるいは直ちに反駁に会うトピック」と化した背景には、こうした酔った上での振る舞いを免責する風潮が社会に、とりわけ男性の間に広がっていることがあげられよう。この飲酒免責論に対するアンチテーゼとしての対応が、DVの理由として「飲む飲まないは関係ない」との断定であったとすれば、少々安直で短絡的であったとしてもそれは社会運動論的には意味を持つことが理解される。ましてや、アルコール・ソーシャル・システムとも呼ばれる(清水, 1998) 飲酒と酔いに対してはるかに寛容な日本社会において、飲酒や酔いの下に行われるタイムアウト行動としてのドメスティック・バイオレンスに関しては、「飲む飲まないは関係ない」と断定をする社会文化的意味は大きいと言わざるを得ない。

一方、飲酒免責論に反発するあまり、飲酒とドメスティック・バイオレンスの関連性を検討すること自体に対しても反発するとなると、それは勇み足という以外はないだろう。仮に研究を通じて、過剰飲酒や問題飲酒さらにはアルコール依存症やアルコール嗜癖がDVと密接な関係にあることが明らかになれば、そうした問題を持っている人々の間でDVが生じている傾向が導かれるわけで、早期の教育と注意、必要に応じた介入と関係機関・グループへの紹介が、例えばアルコール臨床の現場を通じて可能となるかも知れない。本研究は、その可能性を探る始めの一步として行われたものである。

2. アルコール臨床調査

1) 調査の概要

調査は2001年12月から2002年2月にかけて行われた。調査対象者はアルコール治療専門外来クリニックの通院者とその家族である。集計されたのは、女性票24と男性票32、計56ケースである。

本研究は、事前に国立精神・神経センター調査研究倫理委員会へ倫理審査申請を行い、こうした臨床調査研究において発生しうる回答者の人権保護侵害、倫理基準からの逸脱などの懸念について検討審査が加えられ、都合2度の委員会審議を経て承認を得たものである（承認番号：国立精研13-10）。また実査にあたっては、この倫理委員会承認プロトコルに準拠しながら、対象者に調査の趣旨、方法、プライバシーの保護、記入の拒否の自由、本調査に非協力でも治療には何ら不利益が生じないこと、予想される負担と研究成果などを示した文章を読み上げ手渡し、説明を受けかつ内容を理解した上で調査に協力するという同意文書を作成したうえで進められた。本研究はこのようなインフォームドコンセント（説明と同意）の手続きを踏まえたものである。また、事象の性質から暴力の記憶のフラッシュ・バックなどによる精神的不安や動揺など、起こりうる心的反応などを説明し、必要に応じてクリニックでの事後カウンセリング・ケアが1回無料で受けられることと、さらに必要な場合は民間のシェルターや婦人相談所、DV支援センターなどの関係機関や専門施設等の紹介が可能なことについての説明を行っている。

2) 対象者の諸属性

対象者の主な属性特徴について述べれば、まず女性の場合を表1で示した。年齢は55歳から59歳が29.3%と最も多く、平均年齢は52.5歳である。就業状況は専業主婦が最も多く45.8%、次に生活保護受給者が25.0%となり、常勤で働いている者は16.7%で、その職種はサービス業や労務従事者となっている。学歴は高校卒程度が最も多く54.2%、次に短大卒程度が20.8%、中卒と大卒程度は12.5%と同数になっている。婚姻状況は既婚者が58.3%、死別者と離別者が20.8%となっている。婚姻年数の平均は25.3年である。年間世帯収入は500万円から999万円未満が最も多く37.5%、199万円未満が29.1%、200万円から499万円未満が12.6%となっている。属性関連項目として配偶者/パートナー（夫）の属性をみってみる。夫の年齢平均は53.7歳で、学歴は高卒程度が50.0%、次いで大卒程度が37.5%、中卒程度が8.3%となった。夫の仕事は、課長以上の管理職的職業が62.5%と最も多く、営業職と保安職、労務従事

者が 8.3%とつづいている。

表 1 女性対象者の属性 (%)

年齢	学歴	婚姻状況	現在の職業
36-49 歳 33.3	中卒 12.5	既婚 58.3	専業主婦 45.8
50-54 歳 25.1	高卒 54.2	死別 20.8	生活保護受給 25.0
55-59 歳 29.3	短大卒 20.8	離別 20.8	働いている 16.7
60-71 歳 12.6	大卒 12.5		現在は失業中 8.3
			定年退職 4.2
(N) (24)	(24)	(24)	(24)

(%)

年間世帯収入	(夫の学歴)	(夫の仕事)
199 万円未満 29.1	中卒 8.3	管理的職業 62.5
200-499 万円 12.6	高卒 50.0	事務職 8.3
500-999 万円 37.5	短大卒 4.2	営業職・販売職 8.3
1000 万円以上 8.3	大卒 37.5	保安職 4.2
不明 12.5		運輸・通信職 4.2
		技能、労務、作業等 8.3
		その他 4.2
(N) (24)	(24)	(24)

男性対象者の属性を表2に示している。年齢は60歳以上が最も多く31.2%、次いで55歳から59歳まで25.1%となっており、平均年齢は54.6歳である。就業状況では就業者と生活保護受給者が同数で、35.5%となっている。学歴は中卒程度が46.9%と最も多く、次いで大卒程度が25.0%であった。婚姻状況は既婚者が51.7%、離別者が31.0%、未婚者が13.8%、死別者が3.4%となっている。婚姻年数の平均は27.0年だった。年間世帯収入は199万円未満が最も多く31.3%、200万円から499万円未満が22.0%、1000万円以上が18.8%となった。属性関連項目として、配偶者/パートナー(妻)の状況も示している。妻の年齢平均は54.7歳であった。妻の学歴は高卒程度が最も多く44.4%、次いで中卒程度が29.6%となっている。妻の仕事は、パートで働いているが30.8%と最も多く、次いで専業主婦が26.9%、自営業が19.2%となっている。

表2 男性対象者の属性 (%)

年齢	学歴	婚姻状況	現在の職業
31-41歳 28.1	中卒 46.9	既婚 51.7	働いている 35.5
51-54歳 15.6	高卒 21.9	死別 3.4	休職中 3.2
55-59歳 25.1	専門学校卒 3.1	離別 31.0	現在は失業中 16.1
60-73歳 31.2	短大卒 3.1	未婚 13.8	定年退職 9.7
	大卒 25.0		生活保護受給 35.5
(N) (32)	(32)	(32)	(32)

(%)

年間世帯収入	(妻の学歴)	(妻の仕事)
199万円未満 32.3	中卒 29.6	専業主婦 26.9
200-499万円 22.7	高卒 44.4	自営業 19.2
500-999万円 16.1	短大卒 14.8	パートで働いている 30.8
1000万円以上 9.7	大学卒 11.1	常勤で働いている 15.4
不明 19.4		その他 7.7
(32)	(32)	(32)

3 . 調査結果

1 . 暴力の実態

(1) 被害状況 (女性票)

「あなたの配偶者 / パートナー (過去を含む) は、あなたに対して以下にあげることをどのくらいしましたか。」という 15 項目の質問に対して、「お酒が最もひどかった時 (飲酒当時) と、お酒をやめた現在 (現在)」、それぞれについての回答結果が表 3 である。対象者はアルコール問題を持っている家族および本人であり、現在アルコール専門外来クリニックに通院中である。お酒の問題が最もひどい状況にあった時と、治療に繋がりお酒を止めている現在の状況を比較して、暴力の被害程度を回答してもらった。

質問の 1 から 4 項目目までは、心理的な暴力で、最も多かった「侮辱されたり、のしられた」経験が飲酒当時が 81.0% あるのに対し、お酒を断っている現在では 9.1% となっている。次に「家や部屋から荒々しく出て行かれた」経験が飲酒当時で 62.5% となっているのに対し、現在は 4.5% となっている。「ふくれたり、口をきかない」という経験は飲酒当時が 55.0% であったが、現在は 18.2% である。パートナーが「あなたにいじわるをしたり、いったりした」経験が飲酒当時 54.6% あったのに対し、現在は 18.2% となっている。

質問 5 , 6 は社会関係を差し止めたり監視をするといった制限項目である。「実家や友人とのつきあいを制限したり、禁止された」経験者が 36.3% 飲酒当時にはいたが、現在は 4.5% である。また「交友関係や電話を細かく監視された」のは飲酒当時で 36.3%、現在は 4.5% であった。

質問 7 , 8 は経済的暴力項目である。「支出をこまかくチェックされた」ことは飲酒当時で 22.7% あったが、現在そのようなことはない。パートナーが「お金を入れない」ことを、飲酒当時で 9.1% が経験していたのに対し、現在はない様子である。

質問 9 , 10 , 11 は性的暴力項目である。「脅しや暴力によって、性的な行為を強要された」経験は飲酒当時で 22.7% あるが、現在はない。パートナーが「避妊に協力しない」経験者は飲酒当時で 13.0% いたが、現在はいない。「見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌をみせられた」のが飲酒当時で 9.1% あったが、現在はない。

表3 暴力の種類と被害状況

(%)

	飲酒当時			現在			
	なし	1・2回	3回以上	なし	1・2回	3回以上	配偶者配なし
1.あなたを侮辱したり、ののしる	19.0	42.9	38.1	45.5	9.1	0.0	45.5
2.ふくれたり、口をきかない	45.0	10.0	45.0	36.4	18.2	0.0	45.5
3.家や部屋から荒々しく出て行く	29.2	29.2	33.3	50.0	4.5	0.0	45.5
4.いじわるをしたり、言ったりする	45.5	18.2	36.4	36.4	18.2	0.0	45.5
5.実家や友人とのつきあいをの制限禁止	63.6	13.6	22.7	50.0	4.5	0.0	45.5
6.交友関係や電話を細かく監視	63.6	22.7	13.6	50.0	4.5	0.0	45.5
7.支出をこまかくチェック	77.3	13.6	9.1	54.5	0.0	0.0	45.5
8.お金を入れない	90.9	0.0	9.1	54.5	0.0	0.0	45.5
9.意に反する性的な行為の強要	77.3	4.5	18.2	54.5	0.0	0.0	45.5
10.避妊に協力しない	87.0	4.3	8.7	54.5	0.0	0.0	45.5
11.ポルノビデオ・雑誌を見せる	90.9	0.0	9.1	54.5	0.0	0.0	45.5
12.あなたを、平手で打つ	81.8	9.1	9.1	54.5	0.0	0.0	45.5
13.けったり、かんだり、げんこつなぐる	66.7	12.5	20.8	54.5	0.0	0.0	45.5
14.押す、つかむ、つねる、こづく	73.9	13.0	13.0	54.5	0.0	0.0	45.5
15.身体を傷つける物を、投げつける	72.7	13.6	13.6	54.5	0.0	0.0	45.5

質問12, 13, 14, 15は身体的暴力項目である。そのうち最も多い被害は「けったり、かんだり、げんこつでなくられた」ことで、飲酒当時で33.3%であったが、現在その様な被害にあっている者はいなかった。次に多かったのが「身体を傷つける可能性のあるものを、投げつけられた」経験で、以前が27.2%あったが、現在はない。「押したり、つかんだり、つねったり、こぶいたりされる」ことがあった者は、飲酒当時で26.0%あったが、現在はない。「平手で打つ」という暴力にあった者は、以前は18.2%だったが、現在はない。

心理的暴力はいずれの項目も半数以上が被害に遭っている。また、社会的経済的暴力も以前は少なからずあったことがうかがわれる。性的な暴力も約10%から20%くらいの被害があることが分かった。身体的暴力では30%前後の被害状況が明らかになっているが、これまで実施されたDV調査結果と大きく異なるところはない。今回の調査において大きく異なっているのは、飲酒状況が最も悪いときに比べて、現在の暴力行為は顕著に減少していることである。ただそう理解してしまうのは諸種の理由からまだ早計である。このことについては考察で再度触れる予定でいる。

さらに「いままでに、あなたの配偶者/パートナーからあなたが受けた、最も激しい身体への暴力とは、なんだったのでしょうか」と質問した。最も回答が多かったのは「殴る」の16.7%で、次に「平手打ち」「脅す」「刃物を使って脅す」が同数で8.3%となった(表4)。

表4 夫から受けた最も激しい身体への暴力

	回答数	パーセント
こづく	1	4.3
つかむ	1	4.3
平手打ちする	2	8.7
殴る	4	17.4
蹴る	1	4.3
めった打ちにする	1	4.3
脅す	2	8.7
刃物等を使って脅す	2	8.7
その他	2	8.7
そのようなことは全然なかった	7	30.4
合計	23	100

「配偶者／パートナーから最も激しい暴力を受けた当日か翌日、なんらかの医療的
手当を受けたか」という質問の結果が表5である。治療が必要なほどの暴力を受けた
割合が26.7%となった。

表5 暴力を受けた時の医療的手当の有無

	回答数	パーセント
はい	4	26.7
いいえ	11	73.3
合計	15	100

「治療を必要とするほどの暴力を受けた時、アルコールが入っていたか」という質
問では、自分もパートナーも「どちらも飲んでいなかった」という回答が18.8%とな
り、暴力発生場面では、約8割に何らかのアルコールの関与が認められた(表6)。

表6 暴力時の飲酒の有無

	回答数	パーセント
どちらも飲んでいなかった	3	18.8
相手だけが飲んでいた	9	56.3
二人とも飲んでいた	3	18.8
相手が飲んでいたり、飲んでいなかったり	1	6.3
合計	16	100

(2) 加害状況(男性票)

女性票と同じ項目を、男性が配偶者/パートナー(過去を含む)に対して、どの程度行ったかと質問した結果が表7である。心理的暴力項目で最も多かったのは「ふくれたり、口をきかない」という行為で、飲酒当時が71.5%、お酒を断った現在は22.2%となった。次に「パートナーを侮辱したり、ののしった」が飲酒当時が65.4%あるのに対し、お酒を断っている現在では11.1%となっている。「パートナーにいじわるをしたり、いったりする」が飲酒当時55.5%あったのに対し、現在は7.4%となった。「家や部屋から荒々しく出て行く」が飲酒当時50.0%に対し、現在は11.5%となっている。社会関係の制限項目である「実家や友人とのつきあいを制限したり、禁止した」経験者が21.4%飲酒当時にはいたが、現在はいない。また「交友関係や電話を細かく監視する」ことが飲酒当時で18.5%あったが、現在はない。

経済的暴力項目である「支出をこまかくチェックする」は飲酒当時で25.9%あったが、現在そのようなことはなかった。「お金を入れない」は、飲酒当時で7.6%が行っていたのに対し、現在はない様子である。

性的暴力項目である「脅しや暴力によって、性的な行為を強要した」経験は、飲酒当時で11.1%あり、現在はないという結果である。「見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌をみせた」は飲酒当時で7.4%あったが、現在はない。「避妊に協力しない」ことは飲酒当時も、現在もないという回答であった。

身体的暴力項目で最も多かったのは「平手で打つ」という暴力で、飲酒当時は37.0%だったが、現在はその様な行為はないという回答になった。次いでパートナーを「押したり、つかんだり、つねったり、こずいたりする」は、飲酒当時で29.6%あったが、現在はその様な行為はない。「けったり、かんだり、げんこつでなぐる」ことと「身体を傷つける可能性のあるものを、投げつける」は、共に飲酒当時で14.8%であったが、現在その様な行為を行っている者はいなかった。

さらに「これまでに、あなたの配偶者/パートナーに対してあなたがおこなった、最も激しい身体への暴力とは、なんだったのでしょうか」という質問で、最も回答が多かったのは「平手打ち」の17.9%で、次に「こづく」が14.3%、「殴る」「脅す」「つかむ」「蹴る」が同数で7.1%となった(表8)。

表7 暴力の種類と加害状況

(%)

	飲酒当時			現在			
	なし	1・2 回	3回 以上	なし	1・2 回	3回 以上	配偶者 なし
1. パートナーを侮辱したり、ののしる	34.6	19.2	46.2	40.7	11.1	0.0	48.1
2. ふくれたり、口をきかない	28.6	28.6	42.9	29.6	11.1	11.1	48.1
3. 家や部屋から荒々しく出て行く	50.0	7.7	42.3	38.5	11.5	0.0	50.0
4. いじわるをしたり、言ったりする	44.4	25.9	29.6	44.4	3.7	3.7	48.1
5. 実家や友人とのつきあい制限禁止	78.6	10.7	10.7	51.9	0.0	0.0	48.1
6. 交友関係や電話を細かく監視する	81.5	7.4	11.1	51.9	0.0	0.0	48.1
7. 支出をこまかくチェックする	74.1	11.1	14.8	51.9	0.0	0.0	48.1
8. お金を入れない	92.3	3.8	3.8	51.9	0.0	0.0	48.1
9. 性的な行為を強要する	88.9	11.1	0.0	51.9	0.0	0.0	48.1
10. 避妊に協力しない	100.0	0.0	0.0	51.9	0.0	0.0	48.1
11. ポルノビデオ雑誌を見せる	92.6	3.7	3.7	51.9	0.0	0.0	48.1
12. パートナーを、平手で打つ	63.0	33.3	3.7	51.9	0.0	0.0	48.1
13. ける、かむ、げんこつでなぐる	85.2	7.4	7.4	51.9	0.0	0.0	48.1
14. 押す、つかむつねる、こづく	70.4	22.2	7.4	51.9	0.0	0.0	48.1
15. 傷つける物を、投げつける	85.2	14.8	0.0	51.9	0.0	0.0	48.1

表 8 妻に対する最も激しい身体暴力

	回答数	パーセント
押す	1	3.6
こづく	4	14.3
つかむ	2	7.1
平手打ちする	5	17.9
殴る	2	7.1
蹴る	2	7.1
相手に向かって物を投げる	1	3.6
脅す	2	7.1
その他	1	3.6
そのようなことは全然なかった	8	28.6
合計	28	100

(3) 過去の暴力体験

暴力や虐待は世代間連鎖があるとされているが、本調査でも過去の暴力体験について設問を設けた。女性では16歳以前に家族の暴力を目撃したのは、「時々あった」「しょっちゅうあった」を合わせると、29.1%で(表9)、家族から暴力を受けた経験があるのは、21.7%となった(表10)。

男性の過去の暴力経験では、16歳以前に家族の暴力を目撃したのは、「時々あった」「しょっちゅうあった」を合わせると、50.0%で家族から暴力を受けた経験があるのは、21.9%となった。

過去の暴力体験では、家族から暴力を受けた経験は男女にほとんど差はないが、家族内での暴力の目撃は、男性が女性よりも多いという結果になった。

表 9 家族の暴力行為の目撃

	女性		男性	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント
全くなかった	12	50	14	43.8
めったになかった	5	20.8	2	6.3
時々あった	5	20.8	12	37.5
しょっちゅうあった	2	8.3	4	12.5
合計	24	100	32	100

表 10 家族から暴力を受けた経験

	女性		男性	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント
全くなかった	15	65.2	17	53.1
めったになかった	3	13	8	25
時々あった	5	21.7	6	18.8
しょっちゅうあった	0	0	1	3.1
合計	23	100	32	100

2. 社会関係

「この1年間で、あなたはどのくらい孤独であると感じましたか。」という設問に対して、女性は「まれに」「時々」孤独であると感じるが最も多く、52.1%になった。次に「全くない」「非常にまれに」と孤独を感じていないが34.8%、「しばしば」「とても頻繁に」孤独を感じるが13.0%となった。男性は「全くない」「非常にまれに」が最も多く40.6%、次いで「まれに」「時々」が37.5%、「しばしば」「とても頻繁に」が21.9%になった。男性は女性に比べると、孤独をあまり感じない人が多いが、逆に頻繁に孤独感到に苛まれている割合も多い。

表 11 1年間で孤独と感じた頻度

	女性		男性	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント
全くない	2	8.7	8	25
非常にまれに	6	26.1	5	15.6
まれに	3	13	5	15.6
時々	9	39.1	7	21.9
しばしば	1	4.3	3	9.4
とても頻繁に	2	8.7	4	12.5
合計	23	100	32	100

「あなたの配偶者／パートナー以外に、重要な個人的問題について確実に相談できると思う人は何人いますか」の設問に対して、「2～3人」という回答が女性で58.3%、男性が56.3%といずれも最も多かった。女性は次いで「1人」が20.8%、「4～5人」が12.5%、「0人」と「6人以上」が同数で4.2%となった。男性では次に多かった回答は「0人」の18.8%、次に「1人」「4～5人」の12.5%となった。「重要な問題を相談できる人がいない」人が男性に多い。

表 12 パートナー以外の相談相手

	女性		男性	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント
0人	1	4.2	6	18.8
1人	5	20.8	4	12.5
2～3人	14	58.3	18	56.3
4～5人	3	12.5	4	12.5
6人以上	1	4.2	0	0
合計	24	100	32	100

「断酒会やAAなどの自助集団を除いて、あなたはなんらかの団体や宗教、地域の活動に積極的に参加していますか」については、女性では参加しているという回答が62.5%に対し、男性は28.1%となり、参加していない割合が女性で37.5%、男性で71.9%となった(表13)。地域活動などの社会関係への参加では、男女の回答は対照的だった。

表 13 団体や宗教、地域活動への参加の有無

	女性		男性	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント
はい	15	62.5	9	28.1
いえ	9	37.5	23	71.9
合計	24	100	32	100

3 . 夫婦げんかの状況

「あなたと配偶者／パートナーは、二人の意見の不一致を、どうやって解消していますか」を飲酒当時と現在について、それぞれ回答してもらった(表14)。女性で最も多かったのは飲酒当時で「時には、口げんかや仲違いをするが長くは続かない」が36.4%、次に多かったのは「口げんかだけでなく、体に暴力をふるうようなけんかをしている」の22.7%となった。お酒を止めた現在でも、「けんかはそう長くはつづかない」が多いが、「暴力を含むけんか」がなくなっている。男性は飲酒当時で「いろいろな理由でしばしば長い間口げんかしている」と「ほとんど、会話も口げんかもない」が同数で26.9%と多くなり、現在では「ほとんど、いつも口げんかせずに意見の不一致を解消している」が24.0%となっている。しかし、男女とも現在パートナーがいない人の割合が共に40%以上であるから、夫婦間の意見の不一致を解消する方法が、断酒によって穏やかになっていると断言はできない。

表14 パートナーとの意見の不一致の解消法

	女性				男性			
	飲酒当時		現在		飲酒当時		現在	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
口げんかせずに意見の不一致を解消している	3	13.6	3	13.0	2	7.7	6	24.0
口げんかや仲違いをするが長くは続かない	8	36.4	8	34.8	6	23.1	3	12.0
しばしば長い間口げんかをしている	1	4.5	0	0	7	26.9	0	0
身体に暴力をふるうようなけんかをしている	5	22.7	0	0	3	11.5	0	0
ほとんど、会話も口げんかもない	4	18.2	10	8.7	7	26.9	3	12.0
わからない、答えたくない	1	4.5	0	0	1	3.8	2	8.0
パートナーはいない	0	0	10	43.5	0	0	11	44.0
合計	22	100	23	100	26	100	25	100

表 15 は「あなたとパートナーは、どのくらい口げんかや言い争いをしますか」という口げんかの頻度を飲酒当時と断酒時で回答してもらった結果である。この項目は女性票だけの設問である。飲酒当時のけんかは「1ヶ月に数回」が最も多く、52.2%であったが、断酒している現在は「1ヶ月に数回」の割合は減少して21.7%となっており、飲酒当時あった「1週間に数回」のけんかはなくなっている。しかし、ここでもパートナーがいないが半数近くいる。

表 15 パートナーとの口げんかの頻度

	飲酒当時		現在	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント
しない	7	30.4	5	21.7
1ヶ月に1回以下	1	4.3	3	13
1ヶ月に数回	12	52.2	5	21.7
1週間に数回	3	13	0	0
パートナーいない	0	0	10	43.5
合計	23	100	23	100

表 16 は「口げんかの時、パートナーにアルコールが入っていたことが、どのくらいありましたか」という質問についての結果を示している。飲酒当時と現在で比較した。飲酒当時はアルコールが入っている状況が「しばしば」あったという回答が最も多いが、「ほとんど」と「いつも」をあわせて47.0%にアルコールが入っていたことになる。現在は飲酒して「ない」が30%となっているが、パートナーがいない割合が50%となっている。

表 16 口げんかの際のパートナーの飲酒

	飲酒当時		現在	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント
ない	1	5.9	6	30
めったにない	1	5.9	0	0
たまに	2	11.8	2	10
しばしば	5	29.4	1	5
ほとんどいつも	4	23.5	1	5
いつも	4	23.5	0	0
パートナーない	0	0	10	50
合計	17	100	20	100

逆に「口げんかの時、自身にアルコールが入っていたか」についての回答が表 17 である。飲酒当時も現在も、自身の飲酒が「ない」が最も多いが、現在パートナーがいない割合が半数となっている。

表 17 口げんかの際の自身の飲酒

	飲酒当時		現在	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント
ない	6	35.3	10	50.0
めったにない	2	11.8	0	0
たまに	3	17.6	0	0
しばしば	3	17.6	0	0
ほとんどいつも	1	5.9	0	0
いつも	2	11.8	0	0
パートナーない	0	0	10	50.0
合計	17	100	20	100

「あなたの生活の中で、パートナーを恐ろしいと思ったことが、どれくらいありましたか」という設問への回答を表 18 で示している。そのようなことは「ない」「めったにない」で 60%を越えるが、「いつも」「ほとんど」という回答も 13%あった。

表 18 パートナーへの恐怖

	回答数	パーセント
ない	5	21.7
めったにない	9	39.1
たまに	3	13
しばしば	3	13
ほとんどいつも	2	8.7
いつも	1	4.3
合計	23	100

暴力の実態の特徴として、心理的、社会・経済的、性的、身体的暴力全般において、男性の暴力加害認知が、女性の被害意識よりも軽度なものとしてとらえる傾向にあることがあげられる。特に、性的暴力はいずれの項目も男性の飲酒当時の加害経験がないとする割合が、女性の同じ項目の被害意識よりも少なくなっている。身体的暴力でも、「けったり、かんだり、げんこつでなぐる」や「身体を傷つける可能性のある物を投げつける」といった凶暴な暴力行為で男性の加害認知が低くなっている。本調査は男女票がペアサンプルではないので、単純な比較はできないが、暴力問題の認知には男女間で差があると思われる。

社会関係で男女にみられる特徴として、男性は女性に比べて社会的ネットワークが狭く、関係性が乏しいことがうかがわれる。社会的ネットワークの縮小はアルコール依存症者の特徴でもあるのだが、それゆえ孤独を頻繁に感じる率も多くなっているのだろう。孤独感が女性はほぼなだらかな正規分布であるのに対し、男性は孤独感が「全くない」と「とても頻繁に」感じている人が女性より多く、両極端に振れている様子がうかがわれる。

夫婦げんか、意見の不一致解消の方法では、男女共に、飲酒当時に暴力を含むけんかもあったと回答している。お酒を止めた現在では、それらの状況が改善されている様であるが、パートナーがいらないという回答が約半数では、アルコールが暴力の要因であると断定はできない。生活の中でパートナーに対する恐怖を約4割の女性が経験していることが明らかになったが、この結果がアルコール依存症家族に特徴的なことであるかどうかは、今後の比較分析などの結果で解明していきたい。

4 . 結論とまとめ

本研究では、まずこれまで欧米を中心に展開されてきた飲酒とDVの関連性を問う研究を渉猟して、飲酒がDVの原因とは言えないまでも、飲酒とDVは密接に関連しつつ発生している事実を明らかにした。次いでわれわれ自身が今回行った飲酒とDVに関する臨床調査の結果を提示した。その結果飲酒とドメスティック・バイオレンスの関連性について以下のようなことが判明した。

1) 飲酒とドメスティック・バイオレンス

今回の調査では、心理的暴力はいずれの項目も50%以上が、身体的暴力でも30%前後の被害状況が確認された。そしてさらに性的な暴力も項目により約10%から20%ほどの被害があることが明らかにされた。また社会的経済的暴力も以前は少なからずあったことがうかがわれる。こうした結果は、これまで実施されたDV調査結果とは異なり、やはり飲酒とドメスティック・バイオレンスの関連性の深さを窺わせる。

たとえば、17項目にわたる女性が受けた暴力経験を調べた東京都調査(1998)と比較しても、その被害が格段と大きいことがわかる(表19参照)。さらに暴力の頻度にも注目すると、繰り返しの暴力がアルコール依存症群に際だって多いことが明瞭である。このことは同じく一般人口を対象に、しかし東京都とは異なり男女双方を対象にまた性的暴力にも踏み込んで行った総理府全国調査(2000)との突き合わせでも確認される。つまり当時か翌日に医療的手当が必要なほどの暴力を受けた者の割合は、総理府調査で男子0.5%、女子4.6%、計2.6%であるが、本調査女子では26.7%に達していた。また性的暴力に関しても、「おどしや暴力によって、意に反して性的行為を強要される」では総理府女子は1・2回が13.6%、何度もが4.1%であるのに対して、本調査女子ではそれぞれ4.5%と18.2%であった。同様に、見たくないのにポルノのビデオ・雑誌を見せられる、は総理府女子が4.8%と0.5%であるのに対し、本調査では0.0%と9.1%となっている。

以上見たとおり、暴力を受けた被害の広がりや深刻さの双方において、アルコール依存症が絡むDV被害の大きさがはっきりと浮かび上がっている

表 19 暴力の種類と被害状況

(%)

	今回調査			東京都調査		
	なし	1・2 回	3回 以上	なし	1・2 回	3回 以上
9.おどしや暴力によって、あなたの意に反して性的な行為を強要する	77.3	4.5	18.2	91.4	3.6	1.5
10.避妊に協力しない	87.0	4.3	8.7	54.5	0.0	0.0
11.あなたが見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	90.9	0.0	9.1	87.9	8.4	0.3
12.あなたを、平手で打つ	81.8	9.1	9.1	78.9	14.7	2.9
13.あなたを、けったり、かんだり、げんこつでなぐる	66.7	12.5	20.8	81.6	11.6	3.2
14.あなたを、押したり、つかんだり、つねったり、こづいたりする	73.9	13.0	13.0	75.7	16.2	4.5
15.身体を傷つける可能性のある物を、あなたに投げつける	72.7	13.6	13.6	84.3	9.6	2.1

注：東京都調査は不明・非該当%の記載を割愛

これまでの先行調査と比べ、今回の調査において大きく異なるもう一つの傾向がある。すなわち、いずれの暴力項目も、飲酒状況が最も悪いときに比べて、現在の暴力行為は顕著に減少していることである。

ただアルコール依存症の場合、健康ばかりでなく、社会的信用や人間関係、特に家族関係を壊す結果になることがしばしばである。その結果、今回調査でも半数近くの者が現在では離婚や死別に至っている。配偶者／パートナーがいないケースを含めた今回の集計結果からは、必ずしも断酒がドメスティック・バイオレンスの軽減に寄与

するものかどうか、簡単にはいえない。したがって本来であれば、配偶者やパートナーがいる回答者のみを取り出して、同様の分析をする必要がある。分析に耐えうる十分なサンプル数で後日、集計結果を詳細に報告する機会をもちたい。

2) 本研究の限界と今後の課題

本節冒頭で述べたように、飲酒とDVの関係を因果関係としてでなく、相互に関連し合う相関関係として理解すると、DV問題の社会的対応のオプションとしてアルコール臨床を通じたDV問題への介入、関与というもう一つの道筋が見えてくる。

本研究は、とりあえずわが国でも飲酒とDVは深い相互関連性にあるかどうかを見定めることを基本課題とするものであり、直接そのオプションを臨床活動として試行してみるというものではない。しかし、一アルコール専門外来クリニックでの試みとはいえ、飲酒とDV問題の調査研究をアルコール臨床の現場を通じてなすことによつて、二義的にはアルコール臨床スタッフにとってDV問題を考える契機となったことは間違いない。またこの研究プロジェクトとの関連で、アジア女性基金作成のDV関連冊子を配布しつつ、兵庫県アルコール問題研究会の年次総会時に、「アルコールとDV問題」と題して講演を行う機会を得、この問題についての理解を広める努力をした。効果のほどは別に、初めてまとまったDV関係の冊子に目を通したり両者の関連性についての理解を深める機会であった、と述べた参加者もいた。さらに本研究成果を、今回協力いただいたクリニックにおいて、アルコール依存症患者およびその家族の方々に講演や家族教室を通じてフィードバックしてゆく予定でいる。

3) 今後の展望

暴力におびえて医療放置状態になっているアルコール依存症家族は多い。こうした状況を鑑みれば、アルコール外来医療を通じて、DV問題の早期発見・介入の可能性を高め、その結果家族や恋人自身が被るDV被害の低減が期待される。また中長期的には、社会的問題としてのみならず、アルコール関連問題の一つとしてDV問題を正しく位置づけ、認識し取り扱うスタイルを定着させることによりDV問題への社会的認識ならびに精神保健的認識を広めることが期待される。

DV法の成立によって、またこれを受けたマスメディアの報道などによって、DV問題については一定の社会的認識が広まってきた。とはいえ、総務庁や各自治体の調査結果からみると、その理解はなお一部の国民、住民層の間でしかないことも知られる。特に男性の間では、DVが女性の人権侵害であるとの認識、理解はなお薄弱と言わざるを得ない状況にある。さらにそうした社会的問題としてのみならず、DV問題

への専門的対応の観点からは、問題認識の希薄性ととも利用できる資源の絶対的欠乏が現実問題としてある。

主にボランティアに支えられ、財政的にも運営的にも不安定な、にもかかわらずに頑張っているごく限られた数のシェルターやNPOグループの取り組み。従前の業務にシェルターの業務が付加されDV問題への貢献が期待されるにもかかわらず、必ずしも十分な人的資源のバックアップを受けられない既存の婦人相談所。専門的相談と治療を行っている、しかし大都市に偏在する、一部の心理クリニックや相談所の活動。最近になって被害者救済に力を入れ始めた警察活動。DV問題の社会的対応に利用できる資源は、残念ながらまだまだ少なくかつその活動も不十分と言わざるを得ない。こうした状況にあって、DV問題をアルコール関連問題の一つとして正しく位置づけ、認識し取り扱うスタイルを導入し定着させていくことには大きな意義があり、もしそれが現実化すればDV問題にとって相当程度に強力な資源となることは間違いない。精神科領域ではDVは主にアディクションと位置づけられ治療されることになるが、そもそもDVを疾患と見なす精神科医は少ない。にもかかわらずDV問題は、一般的には社会的認識が必要であるのと同様に、専門的対応としては刑法的認識およびなんらかの精神保健的認識とそこからの対応も必要とされる。このことは、DV被害者に少なからぬトラウマ反応が認められ、男性からの暴力被害が止んだ後もなお心理的反応やPTSD症状を示すことから容易に理解される。

アルコール臨床が扱うDV事例は、全体の中では加害者および被害者のどちらかがあるいは双方が、何らかのアルコール問題を有している場合が中心となる。また暴力被害の程度も、なお初期か中等度の段階に限定されるかも知れない。にもかかわらず暴力と飲酒の高い相関関係性を考えるとき、アルコール臨床はDV事例の発掘、初期介入など、予防医学でいうところの第2次予防（それ以上悪化させずに、早期の快復をはかる）を中心に、またいま少し一般的にはアルコール医療の利用者、関係者一般にDV問題の社会的認識を広めることを通して第1次的予防（病気など、悪い事態に陥ることを防ぐ）に貢献することが期待されるのである。

そのためには、先ずアルコール臨床が1)アルコール関連問題の理解を深め、この枠組みの中にDV問題をきちんと位置づけること、2)DV問題に関して従前にもまして強い関心を示すこと、つまり日常のアルコール臨床の中で暴力問題に対して意識的に敏感になることが肝要である。ただDV問題への取り組みは、アルコール臨床だけで片づくのではないことはいうまでもない。これまでの各種の取り組みに接合させつつ、独自の役割と機能を果たしてゆくことが期待される。そこで、3)従前からのあるいはこれから立ち上がってくるDV防止関連機関や団体との連携に意を砕く必要がある。具体的には、各種の連絡やDV問題協議会での交流が考えられるが、暴力が絡んだ事例の合同検討会などを通じて連携の道を探るのが最も有効なスタイルであろう。

ただ有効であることと現実的であることは、往々に一致しないことが多い。アルコール依存症の治療相談で手一杯で、アルコール絡みとはいえ到底DV問題にまで手が

回らないというのが、少数のアディクション専門外来を除いた大方のところであろう。またアルコール医療はかなりの制度化が進み、医療経済的にもアルコール医療サービスそれ自体で一定程度自足できる段階になりつつある。だからこそなのであるが、連携を図るしかアルコール臨床はDV問題との関わりを持ち得ないであろうし、さらにアルコール医療が常に持ってきた新奇的課題への挑戦にもつながってゆく可能性があることを指摘できるのである。そうした連携が可能となれば、アルコール臨床も徐々にDV問題に向き合えることになるのである。今後そうしたアルコール臨床の中でDV問題を取り上げるような取り組み事例を研究サポートしてゆく必要を感じている。

参考文献

MacAndrew,C. and Edgerton,R.B.,1969, *Drunken Comportment: A Social Explanation*, Aldine Publishing Company.

Murray,C.J.L. and Lopez,A.D.(eds.),1996, *The Global Burden of Disease: A Comprehensive Assessment of Mortality and Disability from Disease, Injuries, and Risk Factors in 1990 and Projected to 2020*, Harvard University Press.

Kantor,G.K. and Straus,M.A.,1990, The "Drunken Bum" Theory of Wife Beating, in Straus,M.A. and Gelles,R.(ed), *Physical Violence in American Families: Risk Factors and Adaptation to Violence in 8,145 Families*, Transaction publishers, 203-224.

Kantor,G.K. and Straus,M.A.,1987, "Drunken Bum" Theory of Wife Beating, *Social problems*, 34:3,214-230.

清水新二,1998, *酒飲みの社会学*、素朴社。

総理府,2000, *男女間における暴力に関する調査*。

Straus,M.A., Gelles,R.J. and Steinmetz,S.K.,1980, *Behind Closed doors: Violence in the American Family*, Anchor. (小中洋太郎訳,1981,*閉ざされた扉のかげで - 家族間の愛と暴力 -*、新評論。)

東京都生活文化局,1998,「女性に対する暴力」調査報告書。

Walker,L.E., 1979, *The Battered Women*, Harper &Row. (斉藤学監訳, 1997, *バタードウーマン - 虐待される妻たち -*、金剛出版。)

付録資料

インフォームド・コンセント関係書類

- 1 . ご協力をお願い
- 2 . アンケート調査参加同意書

飲酒とアルコール関連暴力被害に関するアンケート調査

ご協力をお願い

アルコール依存症は、身体や心をわずらったり、こわしたりするばかりでなく、人間関係までこわすことが多い病気です。家族や周囲にも大きな不安やとまどいをもたらす、そして時には妻や子どもへの暴力被害が発生することも多々あります。

今回当クリニックでは国立精神神経センター-精神保健研究所と協力して、アルコール依存症と暴力問題についてその実態を明らかにしたうえで、その対策を検討することにしました。これはそのためのアンケート調査です。このアンケート調査の結果によっては、飲酒がからんだ暴力の早期発見と対応、予防に役立つプログラムを、アルコール治療プログラムの一環として組み込むことが期待されます。

同時に、暴力問題は思い出すのも不快だったり、怖ろしいという方もいます。このアンケート調査の記入によって、万が一あなたにそのようなことが生じた場合、

- (1) アンケート記入はいつでもやめられます。
- (2) 記入後にそのようなことが生じた場合も、必要があればこの問題に関して心理カウンセリングを1回無料で受けることができます。
- (3) それ以上のケアが必要になった場合は、暴力被害の専門機関を紹介することもできます。

このアンケート調査への協力は全くあなたの自由意志です。アンケートへの協力の有無に関わらず、当院での治療サービスになんら変わることはありません。アンケートの記入にはおよそ15分ほど要しますが、皆さんの体験をうかがいこれをもとによりよい治療プログラムを作っていきたいと考えていますので、アンケート調査へのご理解をいただきご協力のほどよろしくお願いいたします。なお当然のことながら、アンケートの記入結果はすべて統計的に数字で処理されますので、皆さんに関する個人情報については保護が十分なされることはいうまでもありません。

アンケート調査参加同意書

私は飲酒とアルコール関連暴力被害に関するアンケート調査について、次のような項目の説明を受けました。内容を理解した上で、このアンケート調査に協力することに同意しました。

説明を受けた事項

研究の目的と実施方法

この研究によって期待される効果

アンケート記入によってもたらされ得る悪影響

アンケート調査協力への自由意志

アンケート調査協力の有無にかかわらず、また記入途中の中断によっても、治療上の不利益がないこと

必要に応じて、事後カウンセリングを無料で1回受けられること、あるいは暴力被害の専門相談機関への紹介サービスを受けられること

個人に関する情報やデータ、研究結果についてプライバシーの保護が十分になされること

平成 年 月 日

同意者氏名 _____

説明者氏名 _____

調查票

- 1 . 女性版
- 2 . 男性版

女性用調査票

回答年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

SN (調査番号 _____)

IC 説明：

IC 同意書：

参加プログラム：

1. 家族ワークショップ
2. サポート・グループ
3. 初心者家族教室
4. 共依存グループ
5. 女性グループ
6. アルコール・グループ
7. 合同例会
8. 全体例会
9. 初心者教室

記入漏れチェック：

きりとり

名前 _____

家族構成について

問1．あなたの年齢と、あなたもしくは家族の断酒歴を教えてください。

年齢 満 _____ 歳 断酒歴 _____ 年 _____ 月

問2．あなたが最後に卒業した学校は次のどれにあたりますか。あてはまる番号に1つだけをつけて下さい。中退の方は、最後に卒業した学校を、在学中の方は、現在在学している学校をお選びください。

- 1．中学校、旧制小学校（尋常科・高等科）・国民小学校
- 2．高校、旧制中学校・高等学校・実業学校
- 3．各種専門学校（高卒後）
- 4．短大・高専、旧制高校・専門学校
- 5．大学・旧制大学（4年制）以上
- 6．その他（具体的に _____ ）

問3．あなたの現在の婚姻状況についてあてはまる番号に1つだけをつけてください。

- 1．既婚 2．死別 3．離別 4．未婚

問4．現在あなたが一緒に住んでいる世帯の人数（あなたを含めて）は何人ですか。

_____ 人 → **1人と答えた方は問5をとばして、問6にお進みください。**
それ以外の方は、そのまま問5にお進みください。

問5．現在あなたと一緒に同居している方はどなたですか。あてはまる番号すべてにをつけて下さい。

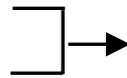
パートナーとは、内縁の夫・妻や恋人をさします。これ以降も、同じ意味で使用します。

- 1．配偶者
- 2．パートナー（内縁の夫・妻、恋人）
- 3．自分の子ども（未成年）
- 4．自分の子ども（成人・既婚）
- 5．自分の子ども（成人・未婚）
- 6．父親（自分もしくは配偶者／パートナーの）
- 7．母親（自分もしくは配偶者／パートナーの）
- 8．その他の家族・親戚
- 9．家族・親戚以外の人

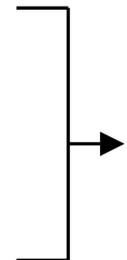
職業について

問6 . あなたは現在働いていますか。あてはまる番号に 1つだけ をつけて、指示のとおりお進みください。

- 1 . 働いている
- 2 . 休職中
- 3 . 現在は失業中
- 4 . 学生
- 5 . 定年退職
- 6 . 専業主婦
- 7 . 生活保護受給中



問7にお進みください。



(3~7にお答えの方は問7をとばして)

問8にお進みください。

問7 . その仕事の種類は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に 1つだけ をつけてください。

- 1 . 専門職（医師、教員、著述業など）
- 2 . 管理的職業（課長以上）
- 3 . 事務職
- 4 . 営業職・販売職（店主、店員）
- 5 . サービス業（美容師、ウェ이터、ホームヘルパーなど）
- 6 . 保安職（自衛官、警察官、ガードマンなど）
- 7 . 農林漁業職
- 8 . 運輸・通信職（自動車運転手・郵便配達員など）
- 9 . 技能、労務、作業系の職業（工場労働者、職人、建設作業員など）
- 10 . その他（具体的に ）

問8 . この一年間で、お宅の全体の年間世帯収入はどれくらいですか（ボーナス、税金も含めた金額でお答えください）。あてはまる番号に 1つだけ をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 . 100万円未満 | 6 . 500万～999万円 |
| 2 . 100万～199万円 | 7 . 1,000万円以上 |
| 3 . 200万～299万円 | 8 . 不明 |
| 4 . 300万～399万円 | 9 . 答えたくない |
| 5 . 400万～499万円 | |

社会関係について

問9 . この1年間で、あなたはどのくらい孤独であると感じましたか。番号に 1つだけ をつけて下さい。

- | | |
|------------|------------|
| 1 . 全くない | 4 . 時々 |
| 2 . 非常にまれに | 5 . しばしば |
| 3 . まれに | 6 . とても頻繁に |

問10 . あなたの配偶者/パートナー以外に、重要な個人的問題について確実に相談できると思う人は何人いますか。あてはまる番号に 1つだけ をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 . 0人 | 4 . 4 ~ 5人 |
| 2 . 1人 | 5 . 6人以上 |
| 3 . 2 ~ 3人 | |

問11 . 断酒会やAAなどの自助集団を除いて、あなたはなんらかの団体や宗教、地域の活動（ボランティア、スポーツ、趣味の会など）に積極的に参加していますか。

- | | |
|--------|---------|
| 1 . はい | 2 . いいえ |
|--------|---------|

配偶者/パートナーとの関係について

次に、あなたの配偶者/パートナーとのご関係について、おたずねします。なおパートナーとは、内縁の夫・妻、恋人をさします。あなたに以前、配偶者/パートナーがいたら、その方についてお答え下さい（以下、'過去を含む'と記します）。

現在も過去にも、配偶者あるいはパートナーがいらっしゃらない場合は、9ページの問28にお進みください。

問12 . 結婚して（内縁や別居を含む）何年ですか。離婚、死別された方は、それまでの結婚年数をお書き下さい。

（ ）年

問13 . あなたの配偶者/パートナーはおいくつですか（現在、配偶者/パートナーのある方のみお書き下さい）。また身長、体重はおよそどのくらいですか。

満（ ）歳 : 身長（ ）センチ : 体重（ ）キロ

問 14 .あなたの配偶者 / パートナー (過去を含む) が最後に卒業した学校の番号に 1つ をつけて下さい。

- 1 . 中学校、旧制小学校 (尋常科・高等科)
- 2 . 高校、旧制中学校・高等学校・実業学校
- 3 . 各種専門学校 (高卒後)
- 4 . 短大・高専、旧制高校・専門学校
- 5 . 大学・旧制大学 (4年制) 以上
- 6 . その他 (具体的に)

問 15 .あなたの配偶者 / パートナー (過去を含む) の仕事の番号に 1つ をつけてください。

- 1 . 専門職 (医師、教員、著述業など)
- 2 . 管理的職業 (課長以上)
- 3 . 事務職
- 4 . 営業職・販売職 (店主、店員)
- 5 . サービス業 (美容師、ウェ이터、ホームヘルパーなど)
- 6 . 保安職 (自衛官、警察官、ガードマンなど)
- 7 . 農林漁業職
- 8 . 運輸・通信職 (自動車運転手、郵便配達員など)
- 9 . 技能、労務、作業系の職業 (工場労働者、職人、建設作業員など)
- 10 . その他 (具体的に)

問 16 .あなたと配偶者 / パートナー (過去を含む) は、二人の意見の不一致を、どうやって解消していますか。 お酒が最もひどかった時 (飲酒当時) と、 お酒を止めてから現在 (現在) について、それぞれ、あてはまる番号を書いてください。

1 . ほとんどいつも、口げんかせずに意見の不一致を解消している

飲酒当時

2 . 時には、口げんかや ^{なかが}仲 違いをするが長くは続かない

3 . いろいろな理由でしばしば長い間口げんかをしている

4 . 口げんかだけでなく、体に暴力をふるうようなけんかをしている

現在

5 . ほとんど、会話も口げんかもない

6 . わからない、答えたくない

7 . 配偶者 / パートナーはいない

問 17. あなたと配偶者/パートナー（過去を含む）は、どのくらい口げんかや言い争いをしますか。お酒が最もひどかった時（飲酒当時）と、お酒を止めてから現在（現在）について、番号を書いてください。

飲酒当時

1. しない → 1. と答えた方のみ、問20へお進みください

2. 1ヶ月に1回以下

3. 1ヶ月に数回

4. 1週間に数回

5. 少なくとも1日1回

6. 配偶者/パートナーはいない

現在

問 18. あなたと配偶者/パートナー（過去を含む）が口げんかをするとき、あなたの配偶者/パートナーにアルコールが入っていたことは、どのくらいありましたか。飲酒当時と現在で、書いて下さい。

1. ない

2. めったにない

3. たまに

4. しばしば

5. ほとんどいつも

6. いつも

7. 配偶者/パートナーはいない

飲酒当時

現在

問 19. あなたと配偶者/パートナー（過去を含む）が口げんかをするとき、あなたにアルコールが入っていたことは、どのくらいありましたか。飲酒当時と現在で、それぞれ、番号を書いてください。

1. ない

2. めったにない

3. たまに

4. しばしば

5. ほとんどいつも

6. いつも

7. 配偶者/パートナーはいない

飲酒当時

現在

問 20. あなたの生活の中で、配偶者/パートナーを恐ろしいと思ったことが、どのくらいありましたか。あてはまる番号に1つだけをつけてください。

1. ない

2. めったにない

3. たまに

4. しばしば

5. ほとんどいつも

6. いつも

問 21. あなたの配偶者/パートナー（過去を含む）は、あなたに対して、以下にあげることをどのくらいしましたか。1 から 15 までの質問に対して、お酒が最もひどかった時（飲酒当時）と、お酒をやめた現在（現在）、それぞれについて、あてはまる番号に をつけてください。

	飲酒当時				現在			
	なし	1 ・ 2 回	3 回 以上	配 偶 者 なし	なし	1 ・ 2 回	3 回 以上	配 偶 者 なし
1. あなたを侮辱したり、ののしる	1	2	3	4	1	2	3	4
2. ふくれたり、口をきかない	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 家や部屋から荒々しく出て行く	1	2	3	4	1	2	3	4
4. あなたにいじわるをしたり、言ったりする	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 実家や友人とのつきあいを制限したり、禁止する	1	2	3	4	1	2	3	4
6. あなたの交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 支出をこまかくチェックする	1	2	3	4	1	2	3	4
8. お金を入れない	1	2	3	4	1	2	3	4
9. おどしや暴力によって、あなたの意に反して性的な行為を強要する	1	2	3	4	1	2	3	4
10. 避妊に協力しない	1	2	3	4	1	2	3	4
11. あなたが見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3	4	1	2	3	4
12. あなたを、平手で打つ	1	2	3	4	1	2	3	4
13. あなたを、けったり、かんだり、げんこつでなぐる	1	2	3	4	1	2	3	4
14. あなたを、押したり、つかんだり、つねったり、こづいたりする	1	2	3	4	1	2	3	4
15. 身体を傷つける可能性のある物を、あなたに投げつける	1	2	3	4	1	2	3	4

問 22 . いままで、あなたの配偶者 / パートナーから あなたが受けた、最も激しい 身体への暴力とは、なんだったでしょうか。以下の中から、あてはまる番号を 1 つだけ 選んで をつけてください。暴力を受けなかったという場合には一番下の 14 . に をしてから問 25 にお進みください。

- 1 . 押す 2 . こづく 3 . つかむ 4 . 平手打ちする 5 . 殴^{なぐ}る 6 . 蹴^ける
7 . めった打ちにする 8 . あなたに向かって物を投げる 9 . 物で打つ 10 . 脅^{おど}す
11 . 刃物等を使って脅^{おど}す 12 . 刃物できりつける
13 . その他 (具体的にお書きください)

14 . そのようなことは全然なかった → 問 25 にお進みください

問 23 . その暴力を受けた日かその翌日ぐらいに、あなたは医者・看護婦・整骨師やその他医療に関わる専門家から、なんらかの医療的手当てを受けましたか？

- 1 . はい 2 . いいえ

問 24 . その暴力のまえに、あなたや相手の方は、お酒を飲んでいましたか？あてはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

- 1 . どちらも飲んでいなかった 3 . 自分だけが飲んでいた
2 . 相手だけが飲んでいた 4 . 二人とも飲んでいた

問 25 . では反対に、いままであなたの配偶者 / パートナーに対して あなたがおこなった最も激しい 身体への暴力とは、なんだったでしょうか。次の中からあてはまる番号に 1 つだけ をつけてください。そのようなことがまったく無かった方は一番下の 14 . に をしてから問 28 にお進みください。

- 1 . 押す 2 . こづく 3 . つかむ 4 . 平手打ちする 5 . 殴^{なぐ}る 6 . 蹴^ける
7 . めった打ちにする 8 . 相手に向かって物を投げる 9 . 物で打つ 10 . 脅^{おど}す
11 . 刃物等を使って脅^{おど}す 12 . 刃物等を使う 13 . その他 (具体的にお書きください)

14 . そのようなことは全然なかった → 問 28 へお進みください。

問 26 . この暴力のまえに、あなたや相手の方は、お酒を飲んでいましたか？あてはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

- 1 . どちらも飲んでいなかった
- 2 . 相手だけが飲んでいた
- 3 . 自分だけが飲んでいた
- 4 . 二人とも飲んでいた

問 27 . いままでをふり返って、あなたが、配偶者 / パートナーに対して暴力をふるったこと（例えば押す、つきとばす、殴る・蹴る、相手に向かってものを投げる、刃物等を使って脅すなど）は、何回くらいあったでしょうか？あてはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

- 1 . 全くなかった
 - 2 . 1 回
 - 3 . 2 , 3 回
 - 4 . 4 回以上
-

問 28 . あなたが 16 歳になる前に、あなたの家族の中で暴力行為をみたことがありますか。あてはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

- 1 . 全くなかった
- 2 . めったになかった
- 3 . 時々あった
- 4 . しょっちゅうあった
- 5 . 非常にしょっちゅうあった

問 29 . あなたが 16 歳になる前に、あなた自身が家族の誰かから暴力を受けた経験がありますか。あてはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

- 1 . 全くなかった
- 2 . めったになかった
- 3 . 時々あった
- 4 . しょっちゅうあった
- 5 . 非常にしょっちゅうあった

体調・意識

最後にあなた自身についてご回答ください。

問 30 . あなたの身長・体重はおいくつですか？

身長 _____ cm 体重 _____ kg

問 31 . 以下の質問は、あなたのここ 2、3 日の感情や行動の状態にどのくらい当てはまりますか。当てはまる数字を一つだけ で囲んでください。

全く
ちがう

いく
らか
そつだ

まあ
そつだ

その
通りだ

	0	1	②	3
例 . 疲れやすい	0	1	②	3
1 . 怒りっぽくなる	0	1	2	3
2 . 悲しい気分だ	0	1	2	3
3 . 何となく心配だ	0	1	2	3
4 . 怒りを感じる	0	1	2	3
5 . 泣きたい気持ちだ	0	1	2	3
6 . 感情を抑えられない	0	1	2	3
7 . くやしい思いがする	0	1	2	3
8 . 不愉快だ	0	1	2	3
9 . 気持ちが沈んでいる	0	1	2	3
10 . いらいらする	0	1	2	3
11 . いろいろなことに自信がない	0	1	2	3
12 . 何もかもいやだと思う	0	1	2	3
13 . よくないことを考える	0	1	2	3
14 . 話や行動がまとまらない	0	1	2	3
15 . なぐさめて欲しい	0	1	2	3
16 . 根気がない	0	1	2	3
17 . ひとりでいたい気分だ	0	1	2	3
18 . 何かに集中できない	0	1	2	3

問32. 次の意見についてどう思いますか。現在の、あなたのお気持ちをお答え下さい。1～10の意見それぞれについて、1. そう思う、2. ややそう思う、3. どちらともいえない、4. あまりそう思わない、5. まったくそう思わない、から一つ選んで、その数字に をしてください。

	1	2	3	4	5
	そ う 思 う	や や そ う 思 う	ど ち ら い と え も な い	あ ま り そ 思 わ な い	ま た う く 思 わ な い
1. 男は妻子をやしなわなければならない。	1	2	3	4	5
2. 女の仕事より男の仕事が重要だ。	1	2	3	4	5
3. 妻は夫の意見に従うべきだ。	1	2	3	4	5
4. 夫婦にとって一体感は必要不可欠なことだ。	1	2	3	4	5
5. 妻や子どもをたたいたり、けったりするのはしつけの一種だ。	1	2	3	4	5
6. 女性は結婚して幸せになることを願うものだ。	1	2	3	4	5
7. 女性の本来いる場所は家庭だ。	1	2	3	4	5
8. 女性は自分のことよりも家族を優先すべきだ。	1	2	3	4	5
9. 家庭の大黒柱は夫である。	1	2	3	4	5
10. 恋愛関係や夫婦関係では男性が女性をリードすべきだ。	1	2	3	4	5

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

男性用調査票

回答年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

SN (調査番号 _____)

IC 説明：

IC 同意書：

参加プログラム：

1. 家族ワークショップ
2. サポート・グループ
3. 初心者家族教室
4. 共依存グループ
5. 女性グループ
6. アルコール・グループ
7. 合同例会
8. 全体例会
9. 初心者教室

記入漏れチェック：

きりとり

名前 _____

家族構成について

問1．あなたの年齢と、あなたもしくは家族の断酒歴を教えてください。

年齢 満 _____ 歳 断酒歴 _____ 年 _____ 月

問2．あなたが最後に卒業した学校は次のどれにあたりますか。あてはまる番号に1つだけをつけて下さい。中退の方は、最後に卒業した学校を、在学中の方は、現在在学している学校をお選びください。

- 1．中学校、旧制小学校（尋常科・高等科）・国民小学校
- 2．高校、旧制中学校・高等学校・実業学校
- 3．各種専門学校（高卒後）
- 4．短大・高専、旧制高校・専門学校
- 5．大学・旧制大学（4年制）以上
- 6．その他（具体的に _____）

問3．あなたの現在の婚姻状況についてあてはまる番号に1つだけをつけてください。

- 1．既婚 2．死別 3．離別 4．未婚

問4．現在あなたが一緒に住んでいる世帯の人数（あなたを含めて）は何人ですか。

_____ 人 → **1人と答えた方は問5をとばして、問6にお進みください。**
それ以外の方は、そのまま問5にお進みください。

問5．現在あなたと一緒に同居している方はどなたですか。あてはまる番号すべてにをつけて下さい。

パートナーとは、内縁の夫・妻や恋人をさします。これ以降も、同じ意味で使用します。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1．配偶者 | 6．父親（自分もしくは配偶者／パートナーの） |
| 2．パートナー（内縁の夫・妻、恋人） | 7．母親（自分もしくは配偶者／パートナーの） |
| 3．自分の子ども（未成年） | 8．その他の家族・親戚 |
| 4．自分の子ども（成人・既婚） | 9．家族・親戚以外の人 |
| 5．自分の子ども（成人・未婚） | |

職業について

問6 . あなたは現在働いていますか。あてはまる番号に1つだけ をつけてください。

- 1 . 働いている
- 2 . 休職中
- 3 . 現在は失業中
- 4 . 学生
- 5 . 定年退職
- 6 . 専業主夫
- 7 . 生活保護受給中

問7 . この一年間で、お宅の全体の年間世帯収入はどれくらいですか(ボーナス、税金も含めた金額でお答えください)。あてはまる番号に1つだけ をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 . 100万円未満 | 6 . 500万~999万円 |
| 2 . 100万~199万円 | 7 . 1,000万円以上 |
| 3 . 200万~299万円 | 8 . 不明 |
| 4 . 300万~399万円 | 9 . 答えたくない |
| 5 . 400万~499万円 | |

社会関係について

問8 . この1年間で、あなたはどのくらい孤独であると感じましたか。あてはまる番号に1つだけ をつけてください。

- 1 . 全くない
- 2 . 非常にまれに
- 3 . まれに
- 4 . 時々
- 5 . しばしば
- 6 . とても^{ひんぱん}頻繁に

問9 . あなたの配偶者 / パートナー以外に、重要な個人的問題について確実に相談できると思う人は何人いますか。あてはまる番号に 1つだけ をつけてください。

- 1 . 0人
- 2 . 1人
- 3 . 2 ~ 3人
- 4 . 4 ~ 5人
- 5 . 6人以上

問10 . 断酒会やAAなどの自助集団を除いて、あなたはなんらかの団体や宗教、地域の活動（ボランティア、スポーツ、趣味の会など）に積極的に参加していますか。あてはまる番号に1つだけ をつけてください。

- 1 . はい
- 2 . いいえ

配偶者 / パートナーとの関係について

次に、あなたの配偶者 / パートナーとのご関係について、おたずねします。なおパートナーとは、**内縁の夫・妻、恋人をさします**。あなたに以前、配偶者 / パートナーがいたら、その方についてお答え下さい（以下、‘過去を含む’と記します）

現在も過去にも**配偶者 / パートナーがいらっしゃらない場合は、7ページの間18にお進みください**。

問11 . 結婚して（内縁や別居中も含む）何年になりますか。離婚、死別された方は、それまでの結婚年数をお書き下さい。

（ ）年

問12 . あなたの配偶者 / パートナーはおいくつですか（現在、配偶者 / パートナーがいる方のみお書き下さい）。また身長、体重はおよそどのくらいですか。

満（ ）歳 : 身長（ ）センチ : 体重（ ）キロ

問 13 . あなたの配偶者 / パートナー (過去を含む) のお仕事について、おたずねします。あてはまる番号に 1 つだけ をつけてください。

- 1 . 専業主婦
- 2 . 自営業
- 3 . パートで働いている
- 4 . 常勤で働いている
- 5 . その他

問 14 . あなたの配偶者 / パートナー (過去を含む) が最後に卒業した学校は次のどれにあたりますか。あてはまる番号に 1 つだけ をつけてください。中退の方は、最後に卒業した学校を、在学中の方は、現在在学している学校をお選びください。

- 1 . 中学校、旧制小学校 (尋常科・高等科)
- 2 . 高校、旧制中学校・高等学校・実業学校
- 3 . 各種専門学校 (高卒後)
- 4 . 短大・高専、旧制高校・専門学校
- 5 . 大学・旧制大学 (4 年制) 以上
- 6 . その他 (具体的に)

問 15 . あなたと配偶者 / パートナーは (過去を含む) 二人の意見の不一致を、どうやって解消していますか。お酒が最もひどかった時 (飲酒当時) と、お酒を止めてから現在 (現在) について、それぞれ、あてはまる番号を書いてください。

- | | |
|----------------------------------------------|--------------------------|
| 1 . ほとんどいつも、口げんかせずに意見の不一致を解消している | 飲酒当時 |
| 2 . 時には、口げんかや ^{なかが} 仲 違いをするが長くは続かない | <input type="checkbox"/> |
| 3 . いろいろな理由でしばしば長い間口げんかをしている | |
| 4 . 口げんかだけでなく、体に暴力をふるうようなけんかをしている | 現在 |
| 5 . ほとんど、会話も口げんかもない | <input type="checkbox"/> |
| 6 . わからない、答えたくない | |
| 7 . 配偶者 / パートナーはいない | |

問16. あなたは、あなたの配偶者/パートナー（過去を含む）に対して、以下にあげることをどのくらいしましたか。1から15までの質問に対して、お酒が最もひどかった時（飲酒当時）、お酒を止めてから現在（現在） それぞれについて、あてはまる番号に をつけてください。

	飲酒当時				現在			
	なし	1 ・ 2 回	3 回 以上	配 偶 者 なし	なし	1 ・ 2 回	3 回 以上	配 偶 者 なし
1. パートナーを侮辱したり、ののしる	1	2	3	4	1	2	3	4
2. ふくれたり、口をきかない	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 家や部屋から荒々しく出て行く	1	2	3	4	1	2	3	4
4. パートナーにいじわるをしたり、言ったりする	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 実家や友人とのつきあいを制限したり、禁止する	1	2	3	4	1	2	3	4
6. パートナーの交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 支出をこまかくチェックする	1	2	3	4	1	2	3	4
8. お金を入れない	1	2	3	4	1	2	3	4
9. おどしや暴力によって、パートナーの意に反して性的な行為を強要する	1	2	3	4	1	2	3	4
10. パートナーが望んでも避妊に協力しない	1	2	3	4	1	2	3	4
11. パートナーが見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3	4	1	2	3	4
12. パートナーを、平手で打つ	1	2	3	4	1	2	3	4
13. パートナーを、けったり、かんだり、げんこつでなくる	1	2	3	4	1	2	3	4
14. パートナーを、押したり、つかんだり、つねったり、こづいたりする	1	2	3	4	1	2	3	4
15. 身体を傷つける可能性のある物を、パートナーに投げつける	1	2	3	4	1	2	3	4

問21．以下の質問は、あなたのここ2、3日の感情や行動の状態にどのくらい当てはまりますか。最も当てはまる数字を一つだけ で囲んでください。

	全くちがう	いくらかそうだ	まあそうだ	その通りだ
例．疲れやすい	0	1	②	3
1．怒りっぽくなる	0	1	2	3
2．悲しい気分だ	0	1	2	3
3．何となく心配だ	0	1	2	3
4．怒りを感じる	0	1	2	3
5．泣きたい気持ちだ	0	1	2	3
6．感情を抑えられない	0	1	2	3
7．くやしい思いがする	0	1	2	3
8．不愉快だ	0	1	2	3
9．気持ちが沈んでいる	0	1	2	3
10．いらいらする	0	1	2	3
11．いろいろなことに自信がない	0	1	2	3
12．何もかもいやだと思う	0	1	2	3
13．よくないことを考える	0	1	2	3
14．話や行動がまとまらない	0	1	2	3
15．なくさめて欲しい	0	1	2	3
16．根気がない	0	1	2	3
17．ひとりでいたい気分だ	0	1	2	3
18．何かに集中できない	0	1	2	3

問 22. 次の意見についてどう思いますか。現在の、あなたの気持ちをお答え下さい。1～10の意見それぞれについて、1. そう思う、2. ややそう思う、3. どちらともいえない、4. あまりそう思わない、5. まったくそう思わない、から一つ選んで、その数字に をしてください。

	1	2	3	4	5
	そ う 思 う	や や そ う 思 う	ど ち ら い と え も な い	あ ま り そ 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い
1. 男は妻子をやしなわなければならない。	1	2	3	4	5
2. 女の仕事より男の仕事が重要だ。	1	2	3	4	5
3. 妻は夫の意見に従うべきだ。	1	2	3	4	5
4. 夫婦にとって一体感は必要不可欠なことだ。	1	2	3	4	5
5. 妻や子どもをたたいたり、けったりするのはしつけの一種だ。	1	2	3	4	5
6. 女性は結婚して幸せになることを願うものだ。	1	2	3	4	5
7. 女性の本来いる場所は家庭だ。	1	2	3	4	5
8. 女性は自分のことよりも家族を優先すべきだ。	1	2	3	4	5
9. 家庭の大黒柱は夫である。	1	2	3	4	5
10. 恋愛関係や夫婦関係では男性が女性をリードすべきだ。	1	2	3	4	5

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

單純集計結果表 一覽

- 1 . 女性票回答集計
- 2 . 男性票回答集計

女性票回答集計

参加プログラム

	回答者数	パーセント
サポート・グループ	7	29.2
共依存グループ	5	20.8
女性グループ	11	45.8
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

年齢(歳)

	回答者数	パーセント
36	1	4.2
40	1	4.2
45	2	8.3
46	1	4.2
47	2	8.3
49	1	4.2
50	1	4.2
51	1	4.2
52	1	4.2
53	1	4.2
54	2	8.3
55	3	12.5
56	1	4.2
57	1	4.2
58	1	4.2
59	1	4.2
60	1	4.2
65	1	4.2
71	1	4.2
合計	24	100.0

断酒歴(ヶ月)

	回答者数	パーセント
1	1	4.2
2	3	12.5
3	1	4.2
5	1	4.2
6	1	4.2
12	2	8.3
15	1	4.2
22	1	4.2
23	1	4.2
28	1	4.2
38	1	4.2
51	1	4.2
58	1	4.2
75	1	4.2
156	1	4.2
157	1	4.2
360	1	4.2
合計	20	83.3
無回答	4	16.7
\$合計	24	100.0

学歴

	回答者数	パーセント
中学校、旧制小学校(尋常科・高)	3	12.5
高校、旧制中学校・高等学校・専	13	54.2
短大・高専、旧制高校・専門学	5	20.8
大学・旧制大学(4年制)以上	3	12.5
合計	24	100.0

婚姻状況

	回答者数	パーセント
既婚	14	58.3
死別	5	20.8
離別	5	20.8
合計	24	100.0

世帯人数(自身を含む)

	回答者数	パーセント
1	7	29.2
2	7	29.2
3	5	20.8
4	3	12.5
5	1	4.2
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

配偶者

	回答者数	パーセント
同居している	10	41.7
同居していない	14	58.3
\$合計	24	100.0

パートナー(内縁の夫・妻、恋人)

	回答者数	パーセント
同居している	1	4.2
同居していない	23	95.8
\$合計	24	100.0

自分の子ども(未成年)

	回答者数	パーセント
同居している	6	25.0
同居していない	18	75.0
\$合計	24	100.0

自分の子ども(成人・既婚)

	回答者数	パーセント
同居している	4	16.7
同居していない	20	83.3
\$合計	24	100.0

自分の子ども(成人・未婚)

	回答者数	パーセント
同居している	2	8.3
同居していない	22	91.7
\$合計	24	100.0

父親(自分もしくは配偶者/パートナーの)

	回答者数	パーセント
同居していない	24	100.0

母親(自分もしくは配偶者/パートナーの)

	回答者数	パーセント
同居している	1	4.2
同居していない	23	95.8
\$合計	24	100.0

その他の家族・親戚

	回答者数	パーセント
同居していない	24	100.0

家族・親戚以外の人

	回答者数	パーセント
同居していない	24	100.0

現在の職業

	回答者数	パーセント
働いている	4	16.7
現在は失業中	2	8.3
定年退職	1	4.2
専業主婦	11	45.8
生活保護受給中	6	25.0
合計	24	100.0

職種

	回答者数	パーセント
サービス業(美容師、ウェ이터 技能、労務、作業等の職業(工場)	2	8.3
合計	3	12.5
無回答	1	4.2
非該当	20	83.3
合計	21	87.5
\$合計	24	100.0

年間世帯収入

	回答者数	パーセント
100万円未満	2	8.3
100～199万円	5	20.8
200～299万円	1	4.2
300～399万円	1	4.2
400～499万円	1	4.2
500～999万円	9	37.5
1000万円以上	2	8.3
不明	3	12.5
合計	24	100.0

1年間で孤独と感じた頻度

	回答者数	パーセント
全くない	2	8.3
非常にまれに	6	25.0
まれに	3	12.5
時々	9	37.5
しばしば	1	4.2
とても頻繁に	2	8.3
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

配偶者/パートナー以外の相談相手

	回答者数	パーセント
0人	1	4.2
1人	5	20.8
2～3人	14	58.3
4～5人	3	12.5
6人以上	1	4.2
合計	24	100.0

団体や宗教、地域活動への参加の有無

	回答者数	パーセント
はい	15	62.5
いいえ	9	37.5
合計	24	100.0

婚姻年数(年)

	回答者数	パーセント
4	1	4.2
11	1	4.2
15	2	8.3
18	2	8.3
19	1	4.2
20	1	4.2
21	1	4.2
22	1	4.2
23	1	4.2
25	2	8.3
27	1	4.2
29	1	4.2
30	1	4.2
31	1	4.2
33	1	4.2
34	1	4.2
35	1	4.2
36	1	4.2
45	1	4.2
46	1	4.2
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

配偶者/パートナーの年齢(歳)

	回答者数	パーセント
43	2	8.3
45	1	4.2
47	2	8.3
50	1	4.2
54	1	4.2
55	1	4.2
56	1	4.2
57	1	4.2
59	1	4.2
67	1	4.2
72	1	4.2
合計	13	54.2
無回答	1	4.2
非該当	10	41.7
合計	11	45.8
\$合計	24	100.0

配偶者/パートナーの身長(cm)

	回答者数	パーセント
163	1	4.2
165	1	4.2
167	2	8.3
168	1	4.2
170	1	4.2
175	2	8.3
177	1	4.2
178	3	12.5
合計	12	50.0
無回答	2	8.3
非該当	10	41.7
合計	12	50.0
\$合計	24	100.0

配偶者/パートナーの体重(kg)

	回答者数	パーセント
50	2	8.3
58	1	4.2
60	1	4.2
63	1	4.2
65	1	4.2
67	1	4.2
70	1	4.2
75	1	4.2
78	1	4.2
80	2	8.3
合計	12	50.0
無回答	2	8.3
非該当	10	41.7
合計	12	50.0
\$合計	24	100.0

配偶者/パートナーの学歴

	回答者数	パーセント
中学校、旧制小学校(尋常科・高	2	8.3
高校、旧制中学校・高等学校・専	12	50.0
短大・高専、旧制高校・専門学	1	4.2
大学・旧制大学(4年制)以上	9	37.5
合計	24	100.0

配偶者/パートナーの仕事

	回答者数	パーセント
管理的職業(課長以上)	15	62.5
事務職	2	8.3
営業職・販売職(店主、店員)	2	8.3
保安職(自衛官、警察官、ガード	1	4.2
運輸・通信職(自動車運転手、垂	1	4.2
技能、労務、作業等の職業(工場	2	8.3
その他	1	4.2
合計	24	100.0

配偶者/パートナーとの意見の不一致の解消法(飲酒当時)

	回答者数	パーセント
ほとんどいつも、口げんかせず	3	12.5
時には、口げんかや仲違いをす	8	33.3
いろいろな理由でしばしば長い	1	4.2
口げんかだけでなく、身体に暴	5	20.8
ほとんど、会話も口げんかもな	4	16.7
わからない、答えたくない	1	4.2
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

配偶者/パートナーとの意見の不一致の解消法(現在)

	回答者数	パーセント
ほとんどいつも、口げんかせず	3	12.5
時には、口げんかや仲違いをす	8	33.3
ほとんど、会話も口げんかもなし	2	8.3
配偶者/パートナーはいない	10	41.7
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

配偶者/パートナーとの口げんか(飲酒当時)

	回答者数	パーセント
しない	7	29.2
1ヶ月に1回以下	1	4.2
1ヶ月に数回	12	50.0
1週間に数回	3	12.5
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

配偶者・パートナーとの口げんか(現在)

	回答者数	パーセント
しない	5	20.8
1ヶ月に1回以下	3	12.5
1ヶ月に数回	5	20.8
配偶者/パートナーはいない	10.0	41.7
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

口げんかするとき、配偶者/パートナーにアルコールが入っていたか(飲酒当時)

	回答者数	パーセント
ない	1	4.2
めったにない	1	4.2
たまに	2	8.3
しばしば	5	20.8
ほとんどいつも	4	16.7
いつも	4	16.7
合計	17	70.8
無回答	7	29.2
\$合計	24	100.0

口げんかするとき、配偶者/パートナーにアルコールが入っていたか(現在)

	回答者数	パーセント
ない	6	25.0
たまに	2	8.3
しばしば	1	4.2
ほとんどいつも	1	4.2
配偶者/パートナーはいない	10	41.7
合計	20	83.3
無回答	4	16.7
\$合計	24	100.0

口げんかの際、自身にアルコールが入っていたか(飲酒当時)

	回答者数	パーセント
ない	6	25.0
めったにない	2	8.3
たまに	3	12.5
しばしば	3	12.5
ほとんどいつも	1	4.2
いつも	2	8.3
合計	17	70.8
無回答	7	29.2
\$合計	24	100.0

口げんかの際、自身にアルコールが入っていたか(現在)

	回答者数	パーセント
ない	10	41.7
配偶者/パートナーはいない	10	41.7
合計	20	83.3
無回答	4	16.7
\$合計	24	100.0

配偶者/パートナーを恐ろしいと思ったか

	回答者数	パーセント
ない	5	20.8
めったにない	9	37.5
たまに	3	12.5
しばしば	3	12.5
ほとんどいつも	2	8.3
いつも	1	4.2
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

1.侮辱したり、ののしったりする

	回答者数	パーセント
なし	4	16.7
1,2回	9	37.5
3回以上	8	33.3
合計	21	87.5
無回答	3	12.5
\$合計	24	100.0

2.ふくれたり、口をきかなかったりする

	回答者数	パーセント
なし	9	37.5
1,2回	2	8.3
3回以上	9	37.5
合計	20	83.3
無回答	4	16.7
\$合計	24	100.0

3.家や部屋から荒々しく出て行く

	回答者数	パーセント
なし	7	29.2
1,2回	7	29.2
3回以上	8	33.3
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

4.意地悪をしたり、言ったりする

	回答者数	パーセント
なし	10	41.7
1,2回	4	16.7
3回以上	8	33.3
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

5.実家や友人とのつきあいを制限したり、禁止したりする

	回答者数	パーセント
なし	14	58.3
1,2回	3	12.5
3回以上	5	20.8
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

6.交友関係や電話を細かく監視する

	回答者数	パーセント
なし	14	58.3
1,2回	5	20.8
3回以上	3	12.5
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

7.支出を細かくチェックする

	回答者数	パーセント
なし	17	70.8
1,2回	3	12.5
3回以上	2	8.3
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

8.お金を入れない

	回答者数	パーセント
なし	20	83.3
3回以上	2	8.3
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

9.脅しや暴力によって、性的な行為を強要する

	回答者数	パーセント
なし	17	70.8
1,2回	1	4.2
3回以上	4	16.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

10.避妊に協力しない

	回答者数	パーセント
なし	20	83.3
1,2回	1	4.2
3回以上	2	8.3
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

11.見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

	回答者数	パーセント
なし	20	83.3
3回以上	2	8.3
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

12.平手で打つ

	回答者数	パーセント
なし	18	75.0
1,2回	2	8.3
3回以上	2	8.3
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

13.けったり、かんだり、げんこつでなくる

	回答者数	パーセント
なし	16	66.7
1,2回	3	12.5
3回以上	5	20.8
合計	24	100.0

14.押ししたり、つかんだり、つねったり、こづいたりする

	回答者数	パーセント
なし	17	70.8
1,2回	3	12.5
3回以上	3	12.5
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

15.身体を傷つける可能性のあるものを、投げつける

	回答者数	パーセント
なし	16	66.7
1,2回	3	12.5
3回以上	3	12.5
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

1.侮辱したり、ののしったりする

	回答者数	パーセント
なし	10	41.7
1,2回	2	8.3
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

2.ふくれたり、口をきかなかったりする

	回答者数	パーセント
なし	8	33.3
1,2回	4	16.7
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

3.家や部屋から荒々しく出て行く

	回答者数	パーセント
なし	11	45.8
1,2回	1	4.2
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

4.意地悪をしたり、言ったりする

	回答者数	パーセント
なし	8	33.3
1,2回	4	16.7
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

5.実家や友人とのつきあいを制限したり、禁止したりする

	回答者数	パーセント
なし	11	45.8
1,2回	1	4.2
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

6.交友関係や電話を細かく監視する

	回答者数	パーセント
なし	11	45.8
1,2回	1	4.2
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

7.支出を細かくチェックする

	回答者数	パーセント
なし	12	50.0
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

8.お金を入れない

	回答者数	パーセント
なし	12	50.0
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

9.脅しや暴力によって、性的な行為を強要する

	回答者数	パーセント
なし	12	50.0
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

10.避妊に協力しない

	回答者数	パーセント
なし	12	50.0
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

11.見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

	回答者数	パーセント
なし	12	50.0
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

12.平手で打つ

	回答者数	パーセント
なし	12	50.0
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

13.けったり、かんだり、げんこつでなぐる

	回答者数	パーセント
なし	12	50.0
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

14.押ししたり、つかんだり、つねったり、こづいたりする

	回答者数	パーセント
なし	12	50.0
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

15.身体を傷つける可能性のあるものを、投げつける

	回答者数	パーセント
なし	12	50.0
配偶者なし	10	41.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

配偶者/パートナーからあなたが受けた、最も激しい身体への暴力

	回答者数	パーセント
こづく	1	4.2
つかむ	1	4.2
平手打ちする	2	8.3
殴る	4	16.7
蹴る	1	4.2
めった打ちにする	1	4.2
脅す	2	8.3
刃物等を使って脅す	2	8.3
その他	2	8.3
そのようなことは全然なかった	7	29.2
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

その暴力を受けた当日か翌日、なんらかの医療的手当てを受けたか

	回答者数	パーセント
はい	4	16.7
いいえ	11	45.8
合計	15	62.5
無回答	2	8.3
非該当	7	29.2
合計	9	37.5
\$合計	24	100.0

その暴力の前に、あなたか相手がお酒を飲んでいたら

	回答者数	パーセント
どちらも飲んでいなかった	3	12.5
相手だけが飲んでいたら	9	37.5
二人とも飲んでいたら	3	12.5
相手が飲んでいたり、いなかった	1	4.2
合計	16	66.7
無回答	1	4.2
非該当	7	29.2
合計	8	33.3
\$合計	24	100.0

あなたが配偶者・パートナーに対して行った、最も激しい身体への暴力

	回答者数	パーセント
押す	2	8.3
こづく	1	4.2
つかむ	1	4.2
平手打ちする	2	8.3
殴る	2	8.3
蹴る	1	4.2
相手に向かって物を投げる	2	8.3
脅す	2	8.3
刃物等を使って脅す	1	4.2
その他	1	4.2
そのようなことは全然なかった	8	33.3
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

この暴力の前に、あなたか相手がお酒を飲んでいたら

	回答者数	パーセント
どちらも飲んでいなかった	4	16.7
相手だけが飲んでいたら	6	25.0
2人とも飲んでいたら	4	16.7
合計	14	58.3
無回答	2	8.3
非該当	8	33.3
合計	10	41.7
\$合計	24	100.0

あなたが、配偶者・パートナーに対して振るった暴力の回数

	回答者数	パーセント
全くなかった	1	4.2
1回	5	20.8
2,3回	5	20.8
4回以上	3	12.5
合計	14	58.3
無回答	2	8.3
非該当	8	33.3
合計	10	41.7
\$合計	24	100.0

16歳になる前に、家族の中で暴力行為が行われているのを見たか

	回答者数	パーセント
全くなかった	12	50.0
めったになかった	5	20.8
時々あった	5	20.8
しょっちゅうあった	2	8.3
合計	24	100.0

16歳になる前に、自身が家族の誰かから暴力を受けた経験があるか

	回答者数	パーセント
全くなかった	15	62.5
めったになかった	3	12.5
時々あった	5	20.8
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

自身の身長(cm)

	回答者数	パーセント
143	1	4.2
149	1	4.2
150	3	12.5
153	3	12.5
156	2	8.3
157	5	20.8
158	1	4.2
159	1	4.2
160	2	8.3
161	2	8.3
163	1	4.2
165	1	4.2
168	1	4.2
合計	24	100.0

自身の体重(kg)

	回答者数	パーセント
35	1	4.2
36	1	4.2
37	1	4.2
40	1	4.2
42	1	4.2
45	1	4.2
46	1	4.2
47	1	4.2
48	1	4.2
49	2	8.3
50	2	8.3
52	1	4.2
54	1	4.2
55	2	8.3
56	3	12.5
57	2	8.3
60	1	4.2
80	1	4.2
合計	24	100.0

1.怒りっぽくなる

	回答者数	パーセント
全くちがう	11	45.8
いづらかそうだ	8	33.3
その通りだ	2	8.3
合計	21	87.5
無回答	3	12.5
\$合計	24	100.0

2.悲しい気分だ

	回答者数	パーセント
全くちがう	6	25.0
いづらかそうだ	11	45.8
まあそうだ	1	4.2
その通りだ	4	16.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

3.何となく心配だ

	回答者数	パーセント
全くちがう	3	12.5
いづらかそうだ	11	45.8
まあそうだ	3	12.5
その通りだ	6	25.0
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

4. 怒りを感じる

	回答者数	パーセント
全くちがう	9	37.5
いらかそうだ	9	37.5
その通りだ	3	12.5
合計	21	87.5
無回答	3	12.5
\$合計	24	100.0

5. 泣きたい気持ちだ

	回答者数	パーセント
全くちがう	9	37.5
いらかそうだ	6	25.0
まあそうだ	2	8.3
その通りだ	4	16.7
合計	21	87.5
無回答	3	12.5
\$合計	24	100.0

6. 感情を抑えられない

	回答者数	パーセント
全くちがう	15	62.5
いらかそうだ	6	25.0
まあそうだ	1	4.2
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

7. くやしい思いがする

	回答者数	パーセント
全くちがう	11	45.8
いらかそうだ	5	20.8
まあそうだ	1	4.2
その通りだ	5	20.8
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

8. 不愉快だ

	回答者数	パーセント
全くちがう	11	45.8
いらかそうだ	6	25.0
まあそうだ	2	8.3
その通りだ	3	12.5
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

9.気持ちが沈んでいる

	回答者数	パーセント
全くちがう	8	33.3
いくらかそうだ	8	33.3
まあそうだ	3	12.5
その通りだ	3	12.5
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

10.いらいらする

	回答者数	パーセント
全くちがう	13	54.2
いくらかそうだ	8	33.3
まあそうだ	1	4.2
その通りだ	1	4.2
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

11.いろいろなことに自信がない

	回答者数	パーセント
全くちがう	6	25.0
いくらかそうだ	10	41.7
まあそうだ	4	16.7
その通りだ	2	8.3
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

12.何もかもいやだと思う

	回答者数	パーセント
全くちがう	12	50.0
いくらかそうだ	8	33.3
まあそうだ	1	4.2
その通りだ	1	4.2
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

13.よくないことを考える

	回答者数	パーセント
全くちがう	10	41.7
いくらかそうだ	11	45.8
まあそうだ	1	4.2
その通りだ	1	4.2
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

14.話や行動がまとまらない

	回答者数	パーセント
全くちがう	11	45.8
いくらかそうだ	7	29.2
まあそうだ	2	8.3
その通りだ	2	8.3
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

15.なくさめて欲しい

	回答者数	パーセント
全くちがう	10	41.7
いくらかそうだ	6	25.0
まあそうだ	2	8.3
その通りだ	4	16.7
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

16.根気がない

	回答者数	パーセント
全くちがう	6	25.0
いくらかそうだ	11	45.8
まあそうだ	4	16.7
その通りだ	2	8.3
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

17.一人でいたい気分だ

	回答者数	パーセント
全くちがう	10	41.7
いくらかそうだ	9	37.5
まあそうだ	2	8.3
その通りだ	1	4.2
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

18.何かに集中できない

	回答者数	パーセント
全くちがう	4	16.7
いくらかそうだ	14	58.3
まあそうだ	2	8.3
その通りだ	2	8.3
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

1.男は妻子を養わなければならない

	回答者数	パーセント
そう思う	9	37.5
ややそう思う	5	20.8
どちらともいえない	4	16.7
あまりそう思わない	4	16.7
まったくそう思わない	1	4.2
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

2.女の仕事より男の仕事の方が重要だ

	回答者数	パーセント
そう思う	3	12.5
ややそう思う	7	29.2
どちらともいえない	6	25.0
あまりそう思わない	5	20.8
まったくそう思わない	2	8.3
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

3.妻は夫の意見に従うべきだ

	回答者数	パーセント
そう思う	1	4.2
ややそう思う	3	12.5
どちらともいえない	6	25.0
あまりそう思わない	5	20.8
まったくそう思わない	8	33.3
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

4.夫婦にとって一体感は必要不可欠なことだ

	回答者数	パーセント
そう思う	3	12.5
ややそう思う	5	20.8
どちらともいえない	6	25.0
あまりそう思わない	4	16.7
まったくそう思わない	3	12.5
合計	21	87.5
無回答	3	12.5
\$合計	24	100.0

5.妻や子どもをたたいたり、けったりするのはしつけの一種だ

	回答者数	パーセント
そう思う	1	4.2
あまりそう思わない	2	8.3
まったくそう思わない	19	79.2
合計	22	91.7
無回答	2	8.3
\$合計	24	100.0

6.女性は結婚して幸せになることを願うものだ

	回答者数	パーセント
そう思う	11	45.8
ややそう思う	5	20.8
どちらともいえない	4	16.7
あまりそう思わない	1	4.2
まったくそう思わない	2	8.3
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

7.女性の本来いる場所は家庭だ

	回答者数	パーセント
そう思う	6	25.0
ややそう思う	1	4.2
どちらともいえない	8	33.3
あまりそう思わない	4	16.7
まったくそう思わない	4	16.7
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

8.女性は自分のことよりも家族を優先すべきだ

	回答者数	パーセント
そう思う	6	25.0
ややそう思う	2	8.3
どちらともいえない	5	20.8
あまりそう思わない	5	20.8
まったくそう思わない	5	20.8
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

9.家庭の大黒柱は夫である

	回答者数	パーセント
そう思う	10	41.7
ややそう思う	5	20.8
どちらともいえない	2	8.3
あまりそう思わない	4	16.7
まったくそう思わない	2	8.3
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

10.恋愛関係や夫婦関係では男性が女性をリードすべきだ

	回答者数	パーセント
そう思う	4	16.7
ややそう思う	3	12.5
どちらともいえない	8	33.3
あまりそう思わない	4	16.7
まったくそう思わない	4	16.7
合計	23	95.8
無回答	1	4.2
\$合計	24	100.0

男性票回答集計

参加プログラム

	回答者数	パーセント
アルコール・グループ	22	68.8
合同例会	9	28.1
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

年齢(歳)

	回答者数	パーセント
31	1	3.1
36	1	3.1
39	1	3.1
41	1	3.1
44	1	3.1
47	2	6.3
48	1	3.1
49	1	3.1
51	1	3.1
53	3	9.4
54	1	3.1
55	1	3.1
57	2	6.3
58	2	6.3
59	3	9.4
60	1	3.1
61	3	9.4
62	1	3.1
63	2	6.3
67	1	3.1
68	1	3.1
73	1	3.1
合計	32	100.0

断酒歴(ヶ月)

	回答者数	パーセント
2	3	9.4
3	1	3.1
5	1	3.1
6	1	3.1
7	2	6.3
10	1	3.1
11	1	3.1
12	1	3.1
13	2	6.3
14	1	3.1
15	2	6.3
19	1	3.1
23	1	3.1
24	1	3.1
28	1	3.1
29	1	3.1
32	1	3.1
33	1	3.1
34	1	3.1
81	1	3.1
96	1	3.1
97	2	6.3
105	1	3.1
113	1	3.1
114	1	3.1
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

学歴

	回答者数	パーセント
中学校、旧制小学校(尋常科・高等科)	15	46.9
高校、旧制中学校・高等学校・専門学校	7	21.9
各種専門学校(高卒後)	1	3.1
短大・高専、旧制高校・専門学校	1	3.1
大学・旧制大学(4年制)以上	8	25.0
合計	32	100.0

婚姻状況

	回答者数	パーセント
既婚	15	46.9
死別	1	3.1
離別	9	28.1
未婚	4	12.5
合計	29	90.6
無回答	3	9.4
\$合計	32	100.0

世帯人数(自身を含む)

	回答者数	パーセント
1	10	31.3
2	5	15.6
3	10	31.3
4	5	15.6
5	1	3.1
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

配偶者

	回答者数	パーセント
同居している	14	43.8
同居していない	18	56.3
合計	32	100.0

パートナー(内縁の夫・妻、恋人)

	回答者数	パーセント
同居していない	32	100.0

自分の子ども(未成年)

	回答者数	パーセント
同居している	2	6.3
同居していない	30	93.8
合計	32	100.0

自分の子ども(成人・既婚)

	回答者数	パーセント
同居している	3	9.4
同居していない	29	90.6
合計	32	100.0

自分の子ども(成人・未婚)

	回答者数	パーセント
同居している	8	25.0
同居していない	24	75.0
合計	32	100.0

父親(自分もしくは配偶者/パートナーの)

	回答者数	パーセント
同居している	4	12.5
同居していない	28	87.5
合計	32	100.0

母親(自分もしくは配偶者/パートナーの)

	回答者数	パーセント
同居している	7	21.9
同居していない	25	78.1
合計	32	100.0

その他の家族・親戚

	回答者数	パーセント
同居している	3	9.4
同居していない	29	90.6
合計	32	100.0

家族・親戚以外の人

	回答者数	パーセント
同居していない	32	100.0

現在の職業

	回答者数	パーセント
働いている	11	34.4
休職中	1	3.1
現在は失業中	5	15.6
定年退職	3	9.4
生活保護受給中	11	34.4
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

年間世帯収入

	回答者数	パーセント
100万円未満	4	12.5
100～199万円	6	18.8
200～299万円	2	6.3
300～399万円	2	6.3
400～499万円	3	9.4
500～999万円	5	15.6
1000万円以上	3	9.4
不明	6	18.8
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

1年間で孤独と感じた頻度

	回答者数	パーセント
全くない	8	25.0
非常にまれに	5	15.6
まれに	5	15.6
時々	7	21.9
しばしば	3	9.4
とても頻繁に	4	12.5
合計	32	100.0

配偶者/パートナー以外の相談相手

	回答者数	パーセント
0人	6	18.8
1人	4	12.5
2～3人	18	56.3
4～5人	4	12.5
合計	32	100.0

団体や宗教、地域活動への参加の有無

	回答者数	パーセント
はい	9	28.1
いいえ	23	71.9
合計	32	100.0

婚姻年数(年)

	回答者数	パーセント
3	1	3.1
10	1	3.1
11	1	3.1
15	1	3.1
20	1	3.1
22	2	6.3
24	1	3.1
25	1	3.1
27	2	6.3
28	1	3.1
29	2	6.3
30	2	6.3
32	1	3.1
33	1	3.1
34	2	6.3
35	1	3.1
36	2	6.3
40	1	3.1
45	1	3.1
合計	25	78.1
無回答	3	9.4
非該当	4	12.5
合計	7	21.9
\$合計	32	100.0

配偶者/パートナーの年齢(歳)

	回答者数	パーセント
47	2	6.3
49	2	6.3
50	1	3.1
52	1	3.1
54	2	6.3
55	1	3.1
58	2	6.3
60	1	3.1
61	1	3.1
63	2	6.3
合計	15	46.9
無回答	2	6.3
非該当	15	46.9
合計	17	53.1
\$合計	32	100.0

配偶者/パートナーの身長(cm)

	回答者数	パーセント
145	1	3.1
148	1	3.1
150	4	12.5
152	2	6.3
153	1	3.1
155	1	3.1
156	1	3.1
160	1	3.1
165	2	6.3
合計	14	43.8
無回答	3	9.4
非該当	15	46.9
合計	18	56.3
\$合計	32	100.0

配偶者/パートナーの体重(kg)

	回答者数	パーセント
35	1	3.1
45	1	3.1
48	4	12.5
50	2	6.3
53	1	3.1
55	2	6.3
59	1	3.1
60	2	6.3
合計	14	43.8
無回答	3	9.4
非該当	15	46.9
合計	18	56.3
\$合計	32	100.0

配偶者/パートナーの仕事

	回答者数	パーセント
専業主婦	7	21.9
自営業	5	15.6
パートで働いている	8	25.0
常勤で働いている	4	12.5
その他	2	6.3
合計	26	81.3
無回答	2	6.3
非該当	4	12.5
合計	6	18.8
\$合計	32	100.0

配偶者/パートナーの学歴

	回答者数	パーセント
中学校、旧制小学校(尋常科・高)	8	25.0
高校、旧制中学校・高等学校・専	12	37.5
短大・高専、旧制高校・専門学	4	12.5
大学・旧制大学(4年制)以上	3	9.4
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

配偶者/パートナーとの意見の不一致の解消法(飲酒当時)

	回答者数	パーセント
ほとんどいつも、口げんかせず	2	6.3
時には、口げんかや仲違いをす	6	18.8
いろいろな理由でしばしば長い	7	21.9
口げんかだけでなく、身体に暴	3	9.4
ほとんど、会話も口げんかもな	7	21.9
わからない、答えたくない	1	3.1
合計	26	81.3
無回答	2	6.3
非該当	4	12.5
合計	6	18.8
\$合計	32	100.0

配偶者/パートナーとの意見の不一致の解消法(現在)

	回答者数	パーセント
ほとんどいつも、口げんかせず	6	18.8
時には、口げんかや仲違いをす	3	9.4
ほとんど、会話も口げんかもな	3	9.4
わからない、答えたくない	2	6.3
配偶者/パートナーはいない	11	34.4
合計	25	78.1
無回答	3	9.4
非該当	4	12.5
合計	7	21.9
\$合計	32	100.0

1.侮辱したり、ののしったりする

	回答者数	パーセント
なし	9	28.1
1,2回	5	15.6
3回以上	12	37.5
合計	26	81.3
無回答	2	6.3
非該当	4	12.5
合計	6	18.8
\$合計	32	100.0

2.ふくれたり、口をきかなかったりする

	回答者数	パーセント
なし	8	25.0
1,2回	8	25.0
3回以上	12	37.5
合計	28	87.5
非該当	4	12.5
\$合計	32	100.0

3.家や部屋から荒々しく出て行く

	回答者数	パーセント
なし	13	40.6
1,2回	2	6.3
3回以上	11	34.4
合計	26	81.3
無回答	2	6.3
非該当	4	12.5
合計	6	18.8
\$合計	32	100.0

4.意地悪をしたり、言ったりする

	回答者数	パーセント
なし	12	37.5
1,2回	7	21.9
3回以上	8	25.0
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

5.実家や友人とのつきあいを制限したり、禁止したりする

	回答者数	パーセント
なし	22	68.8
1,2回	3	9.4
3回以上	3	9.4
合計	28	87.5
非該当	4	12.5
\$合計	32	100.0

6.交友関係や電話を細かく監視する

	回答者数	パーセント
なし	22	68.8
1,2回	2	6.3
3回以上	3	9.4
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

7.支出を細かくチェックする

	回答者数	パーセント
なし	20	62.5
1,2回	3	9.4
3回以上	4	12.5
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

8.お金を入れない

	回答者数	パーセント
なし	24	75.0
1,2回	1	3.1
3回以上	1	3.1
合計	26	81.3
無回答	2	6.3
非該当	4	12.5
合計	6	18.8
\$合計	32	100.0

9.脅しや暴力によって、性的な行為を強要する

	回答者数	パーセント
なし	24	75.0
1,2回	3	9.4
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

10.避妊に協力しない

	回答者数	パーセント
なし	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

11.見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

	回答者数	パーセント
なし	25	78.1
1,2回	1	3.1
3回以上	1	3.1
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

12.平手で打つ

	回答者数	パーセント
なし	17	53.1
1,2回	9	28.1
3回以上	1	3.1
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

13.けったり、かんだり、げんこつでなぐる

	回答者数	パーセント
なし	23	71.9
1,2回	2	6.3
3回以上	2	6.3
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

14.押したり、つかんだり、つねったり、こづいたりする

	回答者数	パーセント
なし	19	59.4
1,2回	6	18.8
3回以上	2	6.3
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

15.身体を傷つける可能性のあるものを、投げつける

	回答者数	パーセント
なし	23	71.9
1,2回	4	12.5
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

1.侮辱したり、ののしったりする

	回答者数	パーセント
なし	11	34.4
1,2回	3	9.4
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

2.ふくれたり、口をきかなかったりする

	回答者数	パーセント
なし	8	25.0
1,2回	3	9.4
3回以上	3	9.4
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

3.家や部屋から荒々しく出て行く

	回答者数	パーセント
なし	10	31.3
1,2回	3	9.4
配偶者なし	13	40.6
合計	26	81.3
無回答	2	6.3
非該当	4	12.5
合計	6	18.8
\$合計	32	100.0

4.意地悪をしたり、言ったりする

	回答者数	パーセント
なし	12	37.5
1,2回	1	3.1
3回以上	1	3.1
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

5.実家や友人とのつきあいを制限したり、禁止したりする

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

6.交友関係や電話を細かく監視する

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

7.支出を細かくチェックする

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

8.お金を入れない

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

9.脅しや暴力によって、性的な行為を強要する

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

10.避妊に協力しない

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

11.見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

12.平手で打つ

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

13.けったり、かんだり、げんこつでなぐる

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

14.押したり、つかんだり、つねったり、こづいたりする

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

15. 身体を傷つける可能性のあるものを、投げつける

	回答者数	パーセント
なし	14	43.8
配偶者なし	13	40.6
合計	27	84.4
無回答	1	3.1
非該当	4	12.5
合計	5	15.6
\$合計	32	100.0

あなたが配偶者/パートナーに対して行った、最も激しい身体への暴力

	回答者数	パーセント
押す	1	3.1
こづく	4	12.5
つかむ	2	6.3
平手打ちする	5	15.6
殴る	2	6.3
蹴る	2	6.3
相手に向かって物を投げる	1	3.1
脅す	2	6.3
その他	1	3.1
そのようなことは全然なかった	8	25.0
合計	28	87.5
非該当	4	12.5
\$合計	32	100.0

16歳になる前に、家族の中で暴力行為が行われているのを見た

	回答者数	パーセント
全くなかった	14	43.8
めったになかった	2	6.3
時々あった	12	37.5
しょっちゅうあった	4	12.5
合計	32	100.0

16歳になる前に、自身が家族の誰かから暴力を受けた経験がある

	回答者数	パーセント
全くなかった	17	53.1
めったになかった	8	25.0
時々あった	6	18.8
しょっちゅうあった	1	3.1
合計	32	100.0

自身の身長(cm)

	回答者数	パーセント
150	1	3.1
155	1	3.1
156	1	3.1
157	1	3.1
158	1	3.1
160	3	9.4
163	1	3.1
164	2	6.3
165	3	9.4
167	1	3.1
168	2	6.3
169	1	3.1
170	6	18.8
172	1	3.1
174	1	3.1
175	3	9.4
178	3	9.4
合計	32	100.0

自身の体重(kg)

	回答者数	パーセント
45	1	3.1
48	1	3.1
50	2	6.3
51	2	6.3
52	1	3.1
53	2	6.3
54	1	3.1
55	5	15.6
56	1	3.1
58	4	12.5
60	3	9.4
62	2	6.3
65	1	3.1
68	2	6.3
72	1	3.1
75	1	3.1
78	1	3.1
84	1	3.1
合計	32	100.0

1.怒りっぽくなる

	回答者数	パーセント
全くちがう	17	53.1
いくらかそうだ	10	31.3
まあそうだ	1	3.1
その通りだ	2	6.3
合計	30	93.8
無回答	2	6.3
\$合計	32	100.0

2. 悲しい気分だ

	回答者数	パーセント
全くちがう	18	56.3
いくらかそうだ	8	25.0
まあそうだ	3	9.4
その通りだ	1	3.1
合計	30	93.8
無回答	2	6.3
\$合計	32	100.0

3. 何となく心配だ

	回答者数	パーセント
全くちがう	10	31.3
いくらかそうだ	9	28.1
まあそうだ	7	21.9
その通りだ	1	3.1
合計	27	84.4
無回答	5	15.6
\$合計	32	100.0

4. 怒りを感じる

	回答者数	パーセント
全くちがう	18	56.3
いくらかそうだ	6	18.8
まあそうだ	3	9.4
その通りだ	1	3.1
合計	28	87.5
無回答	4	12.5
\$合計	32	100.0

5. 泣きたい気持ちだ

	回答者数	パーセント
全くちがう	21	65.6
いくらかそうだ	6	18.8
その通りだ	1	3.1
合計	28	87.5
無回答	4	12.5
\$合計	32	100.0

6. 感情を抑えられない

	回答者数	パーセント
全くちがう	21	65.6
いくらかそうだ	5	15.6
まあそうだ	1	3.1
その通りだ	1	3.1
合計	28	87.5
無回答	4	12.5
\$合計	32	100.0

7.くやしい思いがする

	回答者数	パーセント
全くちがう	12	37.5
いくらかそうだ	9	28.1
まあそうだ	4	12.5
その通りだ	3	9.4
合計	28	87.5
無回答	4	12.5
\$合計	32	100.0

8.不愉快だ

	回答者数	パーセント
全くちがう	17	53.1
いくらかそうだ	8	25.0
まあそうだ	2	6.3
その通りだ	1	3.1
合計	28	87.5
無回答	4	12.5
\$合計	32	100.0

9.気持ちが沈んでいる

	回答者数	パーセント
全くちがう	12	37.5
いくらかそうだ	10	31.3
まあそうだ	5	15.6
その通りだ	2	6.3
合計	29	90.6
無回答	3	9.4
\$合計	32	100.0

10.いらいらする

	回答者数	パーセント
全くちがう	13	40.6
いくらかそうだ	10	31.3
まあそうだ	2	6.3
その通りだ	1	3.1
合計	26	81.3
無回答	6	18.8
\$合計	32	100.0

11.いろいろなことに自信がない

	回答者数	パーセント
全くちがう	10	31.3
いくらかそうだ	14	43.8
まあそうだ	3	9.4
その通りだ	2	6.3
合計	29	90.6
無回答	3	9.4
\$合計	32	100.0

12.何もかもいやだと思う

	回答者数	パーセント
全くちがう	19	59.4
いくらかそうだ	7	21.9
まあそうだ	2	6.3
その通りだ	2	6.3
合計	30	93.8
無回答	2	6.3
\$合計	32	100.0

13.よくないことを考える

	回答者数	パーセント
全くちがう	15	46.9
いくらかそうだ	10	31.3
まあそうだ	1	3.1
その通りだ	2	6.3
合計	28	87.5
無回答	4	12.5
\$合計	32	100.0

14.話や行動がまとまらない

	回答者数	パーセント
全くちがう	14	43.8
いくらかそうだ	11	34.4
まあそうだ	2	6.3
その通りだ	1	3.1
合計	28	87.5
無回答	4	12.5
\$合計	32	100.0

15.なぐさめて欲しい

	回答者数	パーセント
全くちがう	17	53.1
いくらかそうだ	10	31.3
まあそうだ	1	3.1
合計	28	87.5
無回答	4	12.5
\$合計	32	100.0

16.根気がない

	回答者数	パーセント
全くちがう	12	37.5
いくらかそうだ	12	37.5
まあそうだ	3	9.4
その通りだ	2	6.3
合計	29	90.6
無回答	3	9.4
\$合計	32	100.0

17.一人でいたい気分だ

	回答者数	パーセント
全くちがう	11	34.4
いくらかそうだ	13	40.6
まあそうだ	4	12.5
その通りだ	3	9.4
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

18.何かに集中できない

	回答者数	パーセント
全くちがう	10	31.3
いくらかそうだ	11	34.4
まあそうだ	7	21.9
その通りだ	2	6.3
合計	30	93.8
無回答	2	6.3
\$合計	32	100.0

1.男は妻子を養わなければならない

	回答者数	パーセント
そう思う	19	59.4
ややそう思う	2	6.3
どちらともいえない	6	18.8
あまりそう思わない	2	6.3
まったくそう思わない	1	3.1
合計	30	93.8
無回答	2	6.3
\$合計	32	100.0

2.女の仕事より男の仕事の方が重要だ

	回答者数	パーセント
そう思う	10	31.3
ややそう思う	5	15.6
どちらともいえない	7	21.9
あまりそう思わない	4	12.5
まったくそう思わない	4	12.5
合計	30	93.8
無回答	2	6.3
\$合計	32	100.0

3.妻は夫の意見に従うべきだ

	回答者数	パーセント
そう思う	1	3.1
ややそう思う	9	28.1
どちらともいえない	9	28.1
あまりそう思わない	6	18.8
まったくそう思わない	5	15.6
合計	30	93.8
無回答	2	6.3
\$合計	32	100.0

4.夫婦にとって一体感は必要不可欠なことだ

	回答者数	パーセント
そう思う	13	40.6
ややそう思う	10	31.3
どちらともいえない	4	12.5
あまりそう思わない	2	6.3
まったくそう思わない	2	6.3
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

5.妻や子どもをたたいたり、けったりするのはしつけの一種だ

	回答者数	パーセント
ややそう思う	4	12.5
どちらともいえない	2	6.3
あまりそう思わない	7	21.9
まったくそう思わない	17	53.1
合計	30	93.8
無回答	2	6.3
\$合計	32	100.0

6.女性は結婚して幸せになることを願うものだ

	回答者数	パーセント
そう思う	13	40.6
ややそう思う	10	31.3
どちらともいえない	3	9.4
あまりそう思わない	4	12.5
まったくそう思わない	1	3.1
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

7.女性の本来いる場所は家庭だ

	回答者数	パーセント
そう思う	6	18.8
ややそう思う	8	25.0
どちらともいえない	9	28.1
あまりそう思わない	4	12.5
まったくそう思わない	4	12.5
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

8.女性は自分のことよりも家族を優先すべきだ

	回答者数	パーセント
そう思う	3	9.4
ややそう思う	9	28.1
どちらともいえない	12	37.5
あまりそう思わない	6	18.8
まったくそう思わない	1	3.1
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

9.家庭の大黒柱は夫である

	回答者数	パーセント
そう思う	13	40.6
ややそう思う	7	21.9
どちらともいえない	8	25.0
あまりそう思わない	2	6.3
まったくそう思わない	1	3.1
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

10.恋愛関係や夫婦関係では男性が女性をリードするべきだ

	回答者数	パーセント
そう思う	5	15.6
ややそう思う	11	34.4
どちらともいえない	10	31.3
あまりそう思わない	2	6.3
まったくそう思わない	3	9.4
合計	31	96.9
無回答	1	3.1
\$合計	32	100.0

無断転載を禁じます。

(財)女性のためのアジア平和国民基金(アジア女性基金)

2002年3月

この報告書は、アジア女性基金がアルコールとDV研究会に委託した「飲酒とドメスティック・バイオレンスに関する調査研究」の報告です。

研究代表者：清水新二(国立精神神経センター-精神保健研究所成人精神保健部)

研究協力者：関井友子(文教大学人間科学部)

廣田真理(国立精神神経センター-精神保健研究所成人精神保健部)

金東洙(東京福祉大学社会福祉学部)